

# HOSEI

Communication Magazine

5  
2021





入学してから社会に出ていくまで  
親身にサポート

# キャリアセンターを 利用してみよう

市ヶ谷、多摩、小金井のそれぞれのキャンパスにあるキャリアセンターには、  
学生のキャリア形成や就職活動をサポートする体制が整っています。

ぜひ、積極的に活用してください。



## HOSEI EYE

法政の「いま」をお伝えします。



1 廣瀬克哉総長による式辞  
2 密を避けるため3部に分けて開催 3 司会を務めた佐藤紗羅さん(経営学部3年・左)と松本康汰さん(社会学部3年・右)



(撮影時のみ一時的にマスクを外しています)

## 2021年・2020年入学式



2021年・2020年入学式が、4月3日(土)日本武道館(千代田区北の丸公園)にて行われました。第1部と第2部は合わせて約6800人の新入生が参加しました。第3部では2020年4月入学者の約4700人が来場しました。

廣瀬克哉総長は式辞で、「例年に比べて、はるかに制約の多い条件の下に置かれている今の様な環境だからこそ、法政大学に属する他の人たちが、どんなふうにもその制約を乗り越えて、自分のやりたいことを実現しようとしているのかを学びとり、そのような仲間たちと協力し合って、それをさらに先に進めてみてください。そのようにして、自分なりの『自由を生き抜く実践知』を磨き上げるには、厳しい制約がかかっているからこそ、むしろ最適な時期だとも言えるのです」とメッセージを贈りました。さらに2020年4月入学者の皆さんには、「2020年入学の皆さん、ようやくこうして対面の場で顔を合わせることができないまま、あらためて、法政大学へようこそ」と述べ、顔を合わせられたことを喜びました。

ご来賓には、一般社団法人法政大学校友会会長の佐々木郁夫氏、法政大学後援会会長の清水伸行氏にお越しいただきました。

新入生および昨年入学された皆さん、ご入学おめでとうございます。



4 第1部で入学の辞を述べた駒松大空さん(国際文化学部) 5 第2部で入学の辞を述べた並木康太郎さん(経済学部) 6 第3部で入学の辞を述べた渡邊恵菜さん(人間環境学部) 7 日本武道館の近くで、快く写真撮影に応じてくれた新入生とご家族



(撮影時のみ一時的にマスクを外しています)

## HOSEI 5 Contents

communication magazine 2021

02 HOSEI EYE 2021年・2020年入学式

03 キャリアセンターを利用してみよう

08 学生相談室を利用してみよう

11 2021年度新任 学部専任教員一覧

12 卒業生インタビュー

「海外で多くのことを経験し 将来の仕事や人生に生かしたい」  
Image Engine Design Inc. 平井 豊和さん

14 ESSAY

「外交文書から考える 日本外交と民主主義」  
法学部国際政治学科 教授 高橋 和宏

16 HOSEI PHRONESIS

「現場の肌感覚と客観的調査を武器に 地方自治を多面的に探求」  
社会学部社会政策学科 准教授 谷本 有美子

18 MY CAMPUS, MY LIFE

デザイン工学部建築学科 建築空間研究室(安藤直見教授研究室) /  
水泳同好会 マリンブルー

20 Message 「ボランティアの在り方を考える」

文学部哲学科4年 佐久間 喜望さん  
(市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ(VSP))

21 THE SCENE VOL.128 準硬式野球部

22 後援会だより 「全国36支部 支部長よりひとこと」 など

26 HOSEI ミュージアム VOL.018

「日本スキーの礎を築く〜福岡孝行と法政大学白馬山荘〜」

27 校友会だより

28 HOSEI TOPICS

30 2020年度自由を生き抜く実践知大賞 2

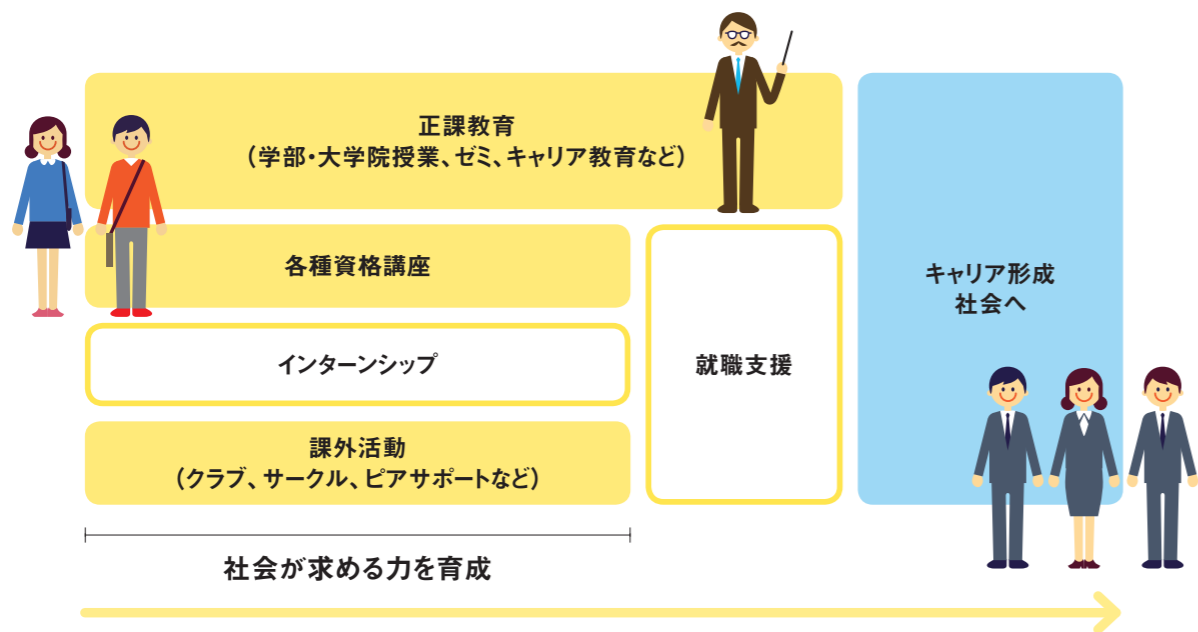
31 BOOKS

COVER 市ヶ谷キャンパス 写真提供：法政大学施設部

2014年3月に着工した市ヶ谷キャンパスの建替工事は、2016年8月に富士見ゲート、2019年3月に大内山校舎、その後中央広場や大内山庭園を中心とした外構工事を経て、2021年1月末に工事全体が竣工しました。計画から10年あまりにわたる大規模な工事でしたが、これにより市ヶ谷キャンパスのさらなる教育・研究施設、学生生活環境の充実が実現されました。



## 〈法政大学のキャリア支援体系〉



## 〈就業力を鍛える／専門スキルを磨く〉

### 課外講座

公務員や法曹（裁判官・検察官・弁護士）、簿記の資格取得や会計専門職（公認会計士など）を目指す学生をバックアップするため、大手専門学校と提携し、試験対策講座を開講しています。

- 公務員講座・法職講座（公務人材育成センター主催）※オンデマンド講座
- 会計専門職講座（高度会計人育成センター主催）

また、キャリアアップ支援のため、各資格学校で開講している講座（※）を割引価格で受講できるようにしています。

※ 2021年度対象講座  
司法書士、行政書士、社会保険労務士、通関士、弁理士、宅地建物取引士、不動産鑑定士、税理士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナー

### 正課教育

授業やゼミでは、社会で生かせる一般教養を身に付け、「文書作成力」「情報収集・分析・発信力」「状況判断・行動力」を鍛えられます。こうした能力は、どの業界、どの企業においても、職業生活を送る上で必要とされる「就業力」となります。

また、文系全学部の1・2年生を対象に、「キャリアデザイン」の設計や仕事についての理解を深める授業が設けられています。

### 課外活動

ゼミやクラブ、サークルなど、先輩・後輩、仲間との交流を通して人間性を育める場が豊富なのが本学の特徴です。キャリアセンターでも、就職活動を終えた4年生が、学生サポーターとして自身の就職活動体験を話したり、後輩の就職活動についての質問に答えたりする支援イベントに協力しています。



法政大学のキャリア教育  
キャリアセンター長からのメッセージ

## 変革期におけるキャリアデザインとは何か

キャリアセンター長 武石 恵美子

キャリアをデザインするというと、目標を決めてそのために頑張らなくてはいけないと思うかもしれませんが、皆さんの中には、目標がない、分からないという人が多いのではないのでしょうか。それで不安になる必要はありません。

今、世の中は大きな変革期にあります。仕事の世界も、グローバル化、デジタル化によって大きく変わろうとしています。特に2020年の新型コロナウイルス感染症により、大学の授業の形態、就職活動のやり方や就職後の働き方は、様変わりしました。たとえば、リモートでの授業や仕事は、以前からその必要性が指摘されていましたが、今回の感染症への対応がそのスピードを加速させました。

感染症対策に明け暮れた一年で私たちが学んだことは、変化の方向やスピードが予測できない社会では、あらかじめ目標を決めて準備をすることは難しく、変化を受け入れるオープンマインドな姿勢、変化に対応できる柔軟な思考というものがとても重要になってくるということです。これからの社会を生きる皆さんには、自分の将来を見据えながらも、変化する社会に適応していくという意識や行動が求められます。

その際重要なのは、変化に流されてしまうのではなく、自分が大事にするもの（value）、得意なもの（can）、やりたいもの（will）という軸を持つことです。それがキャリアデザインの基本になります。今はそれが分からなくても、それを見つけるために、皆さんには、法政大学で多様な経験をしてほしいと思います。

まず皆さんが所属している「学部」では、専門性を深めることができ、学問的な関心や将来の希望について同じような仲間が学んでいます。そこで問題意識を掘り下げて議論をしながら答えを見つけていくというプロセスは大学だからこそ経験できることです。サークルも同様に、共通の関心を持つ学生が集まって活動を展開しています。こうした「強いつながり＝strong ties」で生まれたネットワークは、皆さんのキャリアに軸を提供し、人生を豊かにしてくれるでしょう。

一方で、総合大学である法政大学には実に多様な学部があり、学部以外の学びの場もたくさん開かれています。たとえば、少し興味がある講演会に参加してみよう、他の学部の授業を受けてみよう、というところから思いがけない出会いや知識の吸収があったりします。「弱いつ

ながり＝weak ties」は、興味や関心が自分と異なる人たちとつながるからこそ、思いがけない人や意見と出会うことが多く、刺激を得て視野を広げ、別の角度から自分に向き合うことができるのです。

キャリアセンターを就職支援の場と狭くとらえないでください。キャリアセンターの授業や活動を1年次から活用することで、大学生活で多様な経験をして、多様な人とネットワークを築くことの重要性を理解してもらえはるはず。目的意識をもって大学生活を送ること、オープンマインドで多様な経験をすることの両方を大切にすることが、皆さんの将来の選択肢を増やし、変化対応力を高めると信じています。



キャリアセンター長  
武石 恵美子

法政大学キャリアデザイン学部教授。博士（社会科学）。専門は人的資源管理論、女性労働論。労働政策審議会委員、日本労務学会副会長などの公職を兼務。主な著書に「キャリア開発論」（中央経済社）など。

### 問い合わせ

#### ■市ヶ谷キャリアセンター

東京都千代田区富士見2-17-1（市ヶ谷キャンパス内）外濠校舎2階  
TEL：03-3264-9604

■公務員講座・法職講座 TEL：03-3264-6285

■会計専門職講座 TEL：03-3264-9330

■割引提携講座 TEL：03-3264-6243

#### ■多摩キャリアセンター

東京都町田市相原町4342（多摩キャンパス内）総合棟2階  
TEL：042-783-2171

#### ■小金井キャリアセンター

東京都小金井市梶野町3-7-2（小金井キャンパス内）管理棟2階  
TEL：042-387-6046

#### ■キャリアセンター ウェブサイト

大学ウェブサイト⇒「キャリア」⇒「キャリアセンター」



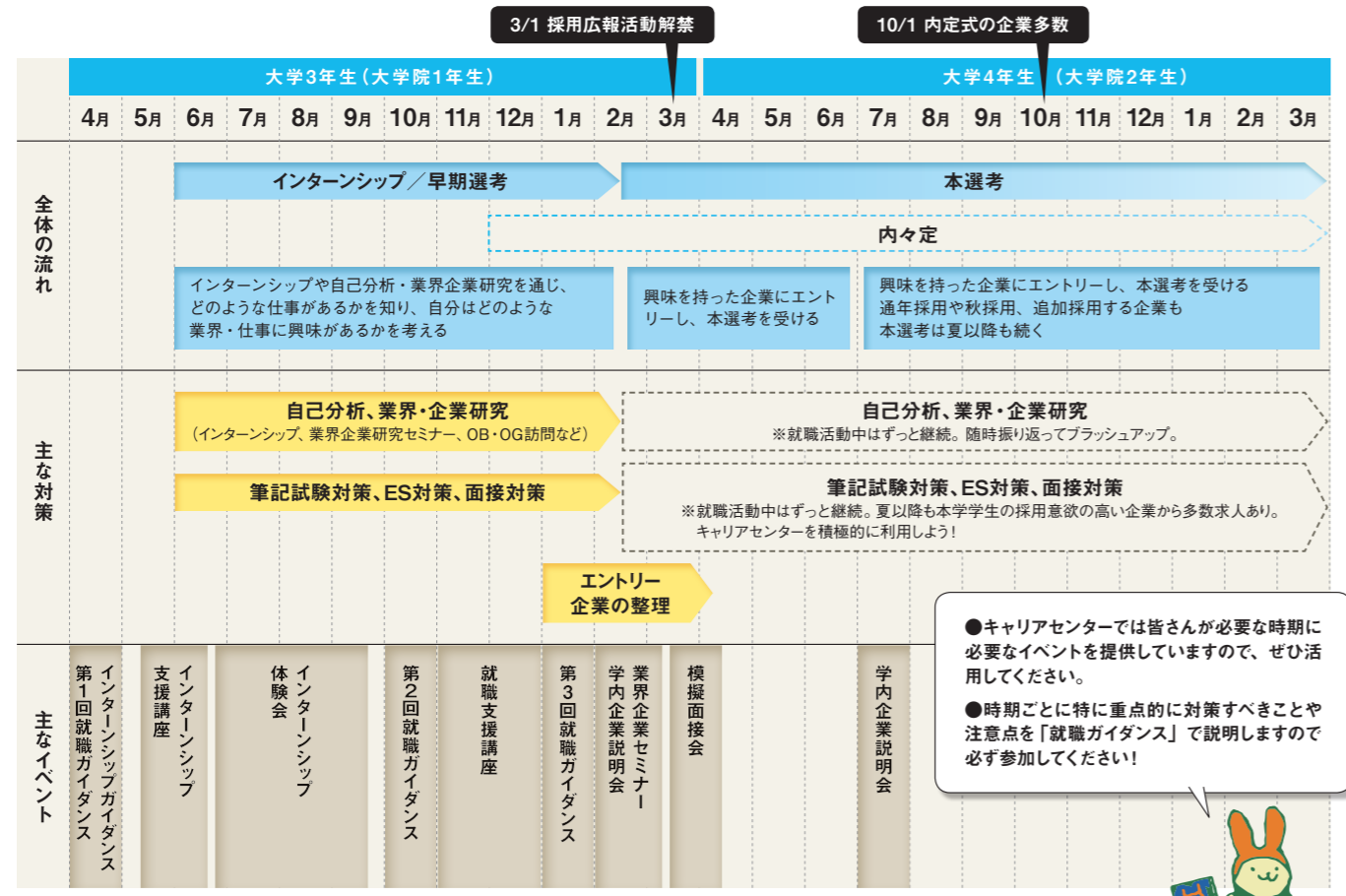
キャリアセンターのウェブサイトには、保護者向けの情報やQ&Aも掲載しています。



後援会の援助により、就職希望者全員に配布される「オリジナル就職活動手帳（ガイドブック付き）」

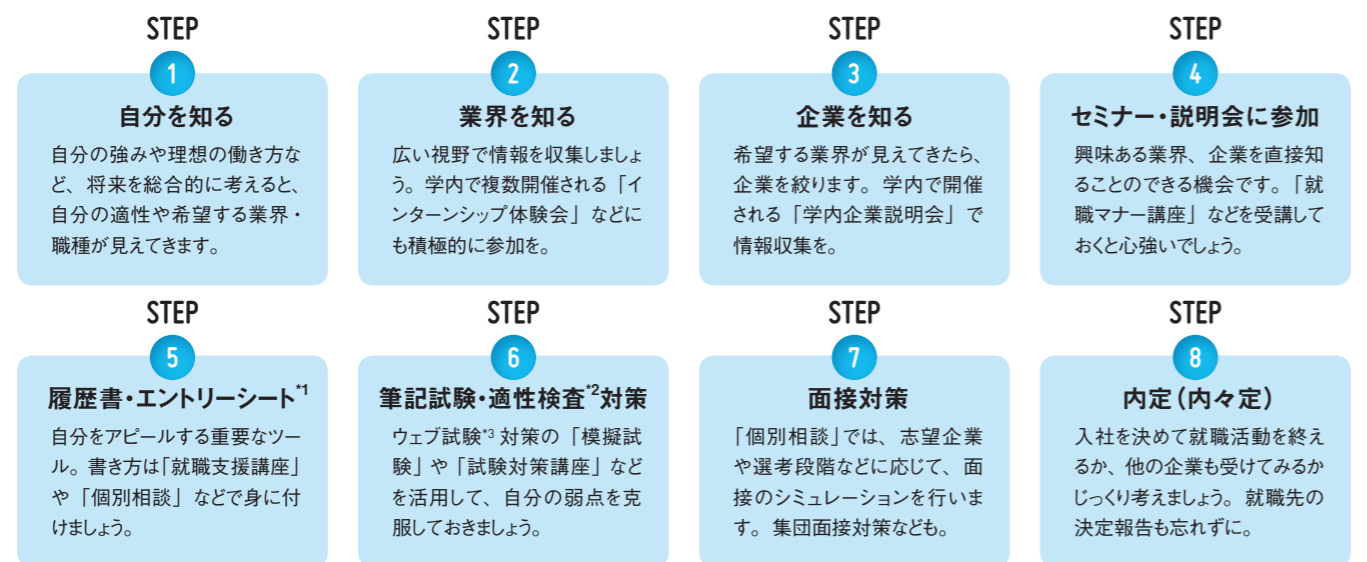
# 〈就職活動の一般的なスケジュール〉

一般的なスケジュールの一例です。志望業界・企業によって異なることがありますので、ご注意ください。



# 〈就職活動の8つのプロセス〉

就職活動には、大きく分けて8つのプロセスがあります。



\*1 エントリーシート: 履歴書の「志望動機」「特技」などの部分に特化した書類で、志望企業にウェブ経由で提出する  
\*2 適性検査: 業務遂行に必要な基礎能力や職務適性を見るもの。「SPI」が一般的  
\*3 ウェブ試験: 自宅や大学、専用会場(テストセンター)からウェブ経由で受ける試験

# 〈キャリアセンターを知ろう!〉

市ヶ谷、多摩、小金井のそれぞれのキャンパスにあるキャリアセンターには学生のキャリア形成や就職活動をサポートする体制が整っています。ぜひ、積極的に活用してください。

## ●キャリアセンターの就職支援●

キャリアセンターでは、専任職員と、企業での採用経験や資格を持ったキャリアアドバイザーなどの経験豊かなスタッフが、学生一人一人の能力や適性、希望に応じた就職を実現するために、全力で支援しています。

### 多彩な支援プログラム

**企業・業界を知る**  
仕事・業界への理解を促すガイダンス、文理別の学内企業説明会(例年では、年間1000社以上が参加)

**面接・試験対策**  
マナー講座、面接講座、エントリーシートの書き方指導、筆記試験対策、模擬面接、ウェブ試験の模擬試験など

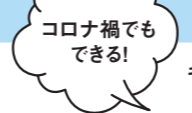
### 経験豊富なスタッフによる個別相談

各キャンパスの学部にあわせて配置された相談員(市ヶ谷15人、多摩7人、小金井5人)が年間約2万2000件のエントリーシートの相談や面接対策に応じています。個別相談は現在、①ウェブ相談(ZOOM利用)、②対面相談(事前予約制)を実施しています。簡単な問い合わせ、質問は電話でも対応しています。

### 卒業生ネットワークを通じた就職支援

●1万7000人分の訪問可能な卒業生データを用意  
●法政企業人コミュニティ(法政BPC:社会の第一線で活躍している約150人が所属)による卒業生との交流会、業界別OB・OG座談会などを例年では開催

## ●キャリアセンターのシステムを活用しよう●



キャリア支援と就職活動をサポートするための情報共有システム「キャリア就職システム」では、本学の学生のみが閲覧できる貴重な情報を公開しています。

### 求人情報、インターンシップ情報をチェック!

大学に寄せられた求人情報やインターンシップ情報を閲覧できます。知られざる優良企業の求人をチェックしましょう。

### 活動体験記をチェック!

先輩の「就職活動体験記」を閲覧できます。各企業の筆記試験の形態、面接時の質問内容など、より具体的な企業情報がチェックできます。

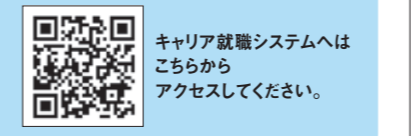
### 就職支援行事をチェック!

キャリアセンターが開催するイベントを活用し、就職活動を効率的に進めましょう。オンライン開催、LIVE配信、スマートフォンから視聴できるイベントなども行っています。

### コロナ禍による変化

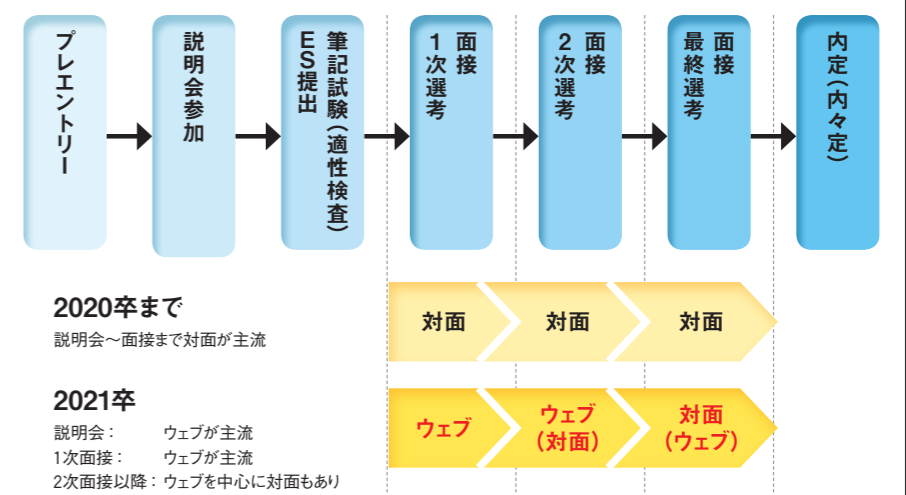
2021年3月に卒業した方々の就職活動では、緊急事態宣言により説明会や採用活動そのものを延期する企業が多くなりました。面接などの選考方式が対面からウェブに切り替えられていったことも大きな変化です。2022年3月卒業予定者の就職活動においても、ウェブを活用した選考を取り入れる企業は依然として多く見られ、今後もこの傾向は続くと思われる。

コロナ禍の環境の中でも、学生が就職活動で不利益を被ることがないように、キャリアセンターではさまざまな支援を進めています。個別相談は、今まで対面のみでしたがウェブによる相談を追加し、予約時に選択できます。就職支援行事についてもウェブで配信しています。4年生向けに本学学生限定のウェブ合同企業説明会も実施し、例年以上に支援を厚くしてきました。今後も学生に寄り添う支援に取り組んでいきます。



## ●選考のプロセスとコロナ禍による変化●

プレエントリーから内定まで(スケジュールは一例です)



この傾向は今後も継続していくことが予想されます



カウンセラーからのメッセージ

### 伝えることから世界は拓ける

春学期が始まり、早1カ月が経過しました。2020年度はオンライン授業の導入や大学への入構制限により、直接、顔を合わせるコミュニケーションの楽しさを奪われ、多くの学生たちはとてもストレスフルな日々を過ごしたと思います。課題の提出に追われる毎日、自由に外出できないことからくる落ち込んだ気分、画面越しで行われる授業や就職活動の難しさなどの相談が、実際、多くの学生から寄せられました。

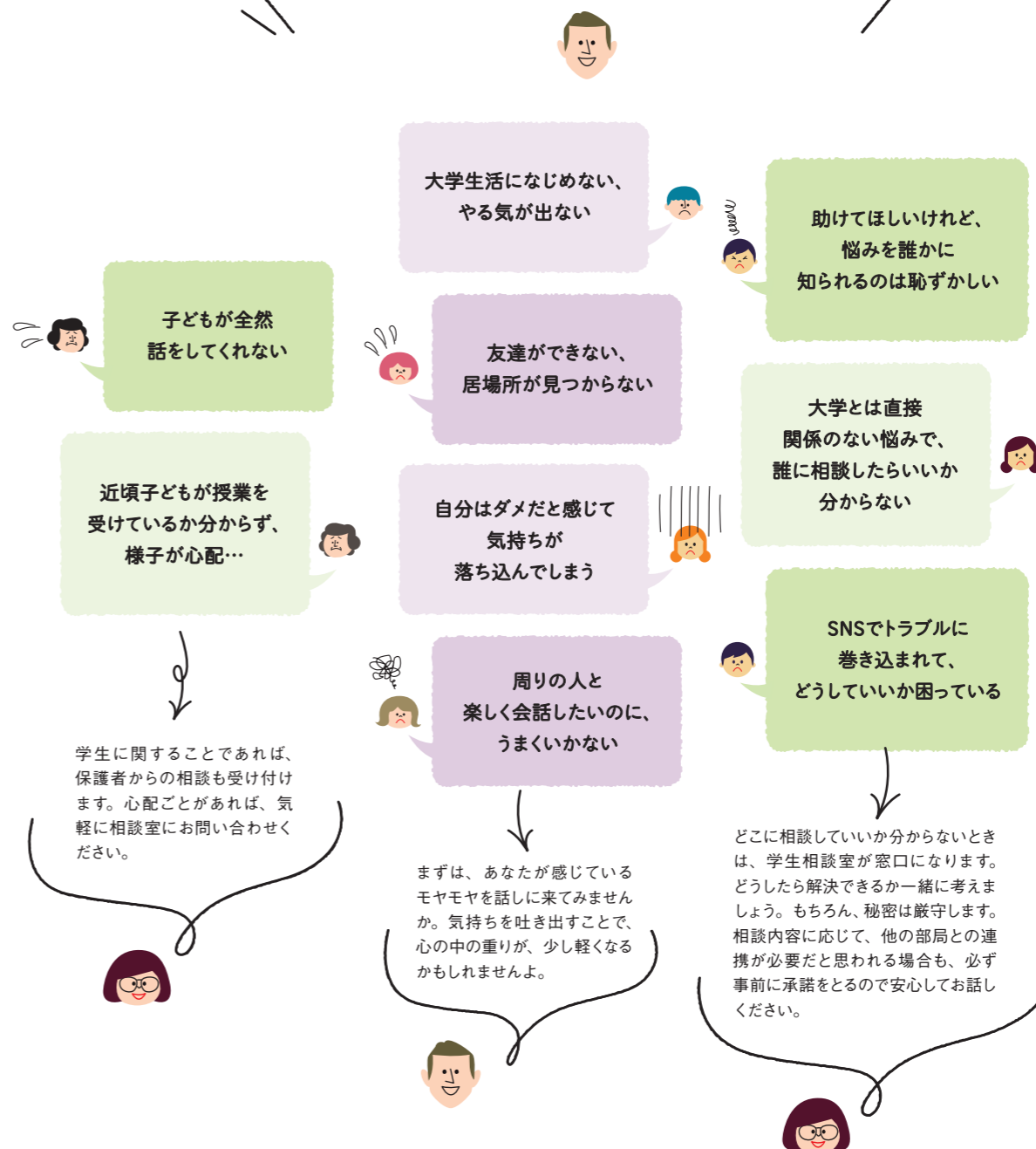
このように、いわば不完全燃焼の一年を過ごした学生たち、特に新入生としての経験をほとんどすることなく上級生になった新2年生の皆さんは、進級への戸惑いや不安が大きいことと思います。新入生の皆さんも大学生活への期待とともに未知の経験への不安を感じていることでしょうか。不安や孤独を感じがちな今こそ、誰かとその気持ちを語り合うようにしてください。思いを伝えることや、人とのつながりを通じて、自分の居場所があるという実感を得ることができるようでしょう。そんな語れる場の一つに学生相談室も加えてもらえればと思います。

(市ヶ谷学生相談室 主任心理カウンセラー 新川田 謙)

# 学生相談室を利用してみよう

学生相談室は、学生の皆さんが大学生活を送る上で困りごとや悩みごとに出合ったとき、より良い解決に向けて一緒に考えていくところです。気になることがあれば、どんな相談も受け付けます。気軽に足を運んでください。

あなたが抱えているモヤモヤした気持ちを聞かせてください。解決の糸口が見つかるまで、繰り返し相談にのります。



学生に関することであれば、保護者からの相談も受け付けます。心配ごとがあれば、気軽に相談室にお問い合わせください。

まずは、あなたが感じているモヤモヤを話しに来てみませんか。気持ちを吐き出すことで、心の中の重りが、少し軽くなるかもしれませんよ。

どこに相談していいかわからないときは、学生相談室が窓口になります。どうしたら解決できるか一緒に考えましょう。もちろん、秘密は厳守します。相談内容に応じて、他の部局との連携が必要だと思われる場合も、必ず事前に承諾をとるので安心してお話しください。

### 弁護士から無料で法律アドバイスが受けられます

学生を対象に、弁護士が法律相談に応じます。直面しているトラブルに関連する法律上の基礎知識を提供し、問題解決に通じる考え方を助言します。

相談場所：市ヶ谷学生相談室（富士見坂校舎4階）  
開催日程などは決まり次第、大学ウェブサイトの学生相談室のページ内でお知らせいたします。



### 保護者の皆さまへ

10代終わりから20代にかけての大学時代は、社会に出る一歩手前の、さまざまな経験を通じて模索してアイデンティティを確立させる時期です。自分の在り方を思い悩み、いろいろなことを試みては失敗してしまうこともあるでしょう。助けの手を差し伸べようとしても、「手伝いはいらない、放っておいてほしい」と反抗的な態度を取るかもしれません。危なっかしく思えるでしょうが、自立しようとしている成長の過程では、当たり前行動です。親の助けを必要とするときだけ手を貸せるように、近すぎず遠すぎずのちょうど良い距離感を保ちながら、おおらかに成長を見守っていく——そんな余裕を持った姿勢でお子さんと接してはいかがでしょうか。

それでも親心として心配でならず、気持ちがやきもきしてしまうときには、どうぞ学生相談室をご利用ください。お子さんに関わるさまざまなお気持ちについて、お聞かせ願えればと思います。

### 学生相談室を利用するには

学生相談室は、市ヶ谷、多摩、小金井の3キャンパスそれぞれに設置されていて、常駐している心理カウンセラー（臨床心理士）が相談をお受けします。

1回の相談につき30～50分程度の時間を確保して、丁寧にお話を伺います。

初回の相談にあたっては、予約を取ってください。直接、来室された場合、心理カウンセラーが面接中ですぐにお話を伺えないこともありますので、電話で予約されることをお勧めします。



学生相談室





## 2021年度新任 学部専任教員一覧

今年度、学部専任教員として新たに着任された先生方をご紹介します。

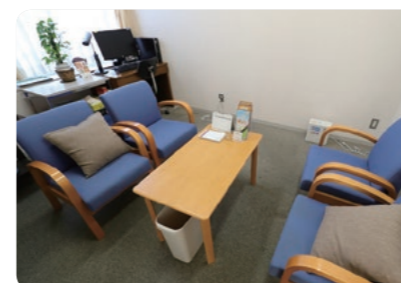
※2021年4月1日現在

学部	学科	役職	氏名	主な専攻・研究内容
法学部	政治学科	教授	河野 有理	日本政治思想史
		教授	土山 希美枝	自治体論、公共政策論、政治学
	国際政治学科	准教授	熊倉 潤	中国と日ソ連の政治
文学部	日本文学科	助教	佐藤 未央子	日本近代文学、映画学
		教授	福元 広二	英語学、英語史
	英文学科	専任講師	田中 裕希	イギリス文学 (モダニズム文学)、翻訳・創作 (詩)
		専任講師	柳橋 大輔	近現代ドイツ文学、映画学、メディア論、映像文化論、表象文化論、修辞学、比較文学、国際日本学
史学科	任期付准教授	宇都宮 美生	中国古代史 (古代から近世までの都城史、交通史、水利史、交流史)	
経済学部	経済学科	教授	阿部 俊弘	統計科学
		教授	八木橋 毅司	マクロ経済学、国際マクロ経済学、応用計量経済学
	国際経済学科	教授	馬 欣欣	中国経済論、労働経済学
社会学部	社会政策科学科	准教授	惠羅 さとみ	産業社会学、国際社会学
	メディア社会学科	専任講師	李 舜志	教育学、哲学
経営学部	市場経営学科	准教授	片桐 満	金融論、金融政策の理論分析、コーポレートファイナンス
国際文化学部	国際文化学科	准教授	大野 ロベルト	日本文学
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	准教授	岡田 栄作	福祉疫学、高齢者福祉、ヘルスプロモーション
		助教	間嶋 健	高齢者福祉、ソーシャルワークの実践現場における支援課題や支援方法の構造化、ソーシャルワーク実践に用いられるエビデンスの検討
	臨床心理学科	助教	小田 友理恵	臨床心理学、カウンセリング・心理療法、臨床心理士の実践性と科学性の関連
情報科学部	コンピュータ科学科	准教授	首藤 裕一	分散アルゴリズム、グラフアルゴリズム、その他 理論計算機科学全般
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	教授	久井 英輔	社会教育学、生涯学習論
デザイン工学部	建築学科	准教授	宮田 雄二郎	建築構造工学、木質材料科学
		任期付講師	山道 拓人	建築設計、意匠、ソーシャルテクニクスデザイン
	都市環境デザイン工学科	外国人客員教授	Olimpia Niglio	文化的景観、比較建築史
理工学部	機械工学科	専任講師	東出 真澄	航空宇宙工学、機械工学、複合材料工学、衝撃工学
	電気電子工学科	専任講師	佐々木 秀徳	電気電子工学、電気機器、機械学習
	応用情報工学科	准教授	周 金佳	情報処理工学、通信工学、電気電子工学
	創生科学科	准教授	柴田 千尋	知能情報学 (機械学習・深層学習)、情報学基礎論
生命科学部	生命機能学科	任期付准教授	辻本 昭彦	理科教育、教育評価、開発教育、総合的な学習
		准教授	西川 正俊	生物物理
グローバル教養学部 (GIS)	グローバル教養学科	准教授	Gregory Kheznejat	日本近現代文学、越境文学
		准教授	Stevie T Suan	メディア論、パフォーマンス論、アジア研究
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	准教授	島本 好平	ライフスキル教育 (ライフスキルコーチング)、体育・スポーツ心理学

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面相談だけではなく電話相談、オンライン相談も行っています。相談を希望される方は、所属する各キャンパスの学生相談室までご連絡ください。なお、最新の情報は大学ウェブサイトの学生相談室のページをご覧ください。



学生相談室

URL: <https://www.hosei.ac.jp/gakusei-sodanshitsu/>

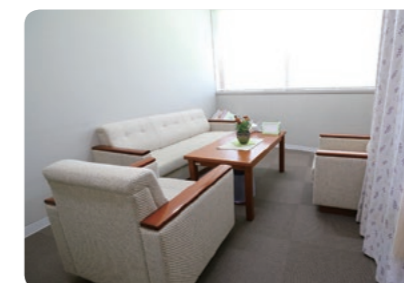
■ 市ヶ谷学生相談室 / 富士見坂校舎4階

TEL: 03-3264-9493

受付時間	月～金 9:00～17:00
心理カウンセラー相談時間	月～金 9:50～16:40

(11:30～12:30は昼休み)

※心理テストを希望者に実施しています。



■ 多摩学生相談室 / 総合棟(1号館)2階

TEL: 042-783-2158

受付時間	月～金 9:30～16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:20～16:15

(11:55～12:55は昼休み)

※心理テスト・ストレスチェックを希望者に実施しています。



■ 小金井学生相談室 / 管理棟4階

TEL: 042-387-6050

受付時間	月～金 9:30～16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:00～16:40

(11:30～12:30は昼休み)

※心理テストを希望者に実施しています。  
※グループ活動の企画を実施しています。  
別途ウェブサイトなどに掲示します。

## 障がいのある学生の支援について

**本**学では「法政大学ダイバーシティ宣言」にのっとり、多様性を受容して、立場の違う相手の生き方や考え方に耳を傾け、理解を深め合うことを目標として掲げています。この理念に従い、障がいのある学生でも、障がいのない学生と同等に学べる環境の実現を目指して、支援の基本方針を定めています。修学上の困難が予想される学生に対しては、障がい学生支援コーディネーターが、どのような支援が必要なのか、本人からニ

ズを聞き取りながら支援プログラムを作成します。また、必要に応じて学生相談室と連携を取りながら支援に当たります。

障がい学生支援室では、サポートスタッフの確保や育成、各種講座やイベントの開催を通じて、障がい学生支援への理解を促す活動も進めています。

法政大学はダイバーシティ宣言の理念に従い、2018年4月、障がいのある学生を全学的に支援するために「障がいのある学生支援の基本方針」を制定しました。

## 学生サポートスタッフが活動しています

障がいのある学生をサポートする学生サポートスタッフは、ノートテイクをはじめとした支援活動を行っています。ノートテイクとは、聴覚障がいのある学生の耳になり、講義内容を聞きながら、意味を要約し、文字にして伝える支援です。

## 「障がいのある学生支援の基本方針」について詳しくはこちらから



## 障がい学生支援室 問い合わせ先

- 市ヶ谷 (外濠校舎1階) TEL: 03-3264-6718
- 多摩 (総合棟2階) TEL: 042-783-4038
- 小金井 (管理棟2階) TEL: 042-387-4556





HOSEI  
Graduate Interview  
**卒業生**  
インタビュー

## 海外で多くのことを経験し 将来の仕事や人生に生かしたい

Image Engine Design Inc.  
**平井 豊和さん**

30歳でオーストラリアに渡り、現在はカナダで映画の3DCG制作に携わっている平井豊和さん。自分の技量や機が熟せば、「やりたいことを仕事にするのは悪いことじゃない」と考えるようになったと言います。

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体現している本学の卒業生を紹介していきます。

アート要素とプログラミングが  
融合したVFX制作

2019年からオーストラリアのアデレードで、2021年1月からはカナダのバンクーバーで主に映画の3DCGの制作に携わっています。専門とするのは、炎や煙、水、洪水や竜巻などの効果（VFX）で、例えば実写映画『キャッツ』では煙を、アクション映画『モーターコンバット』では稲妻などを担当しました。効果が複雑になると、コンピューターの計算に1、2日かかる場合もあり、ほんの数秒のショットの制作に数カ月かけることもあります。

映像のインパクトやリアリティを高めるためには、作り手の個性よりも、現象を忠実に再現することが求められ



オーストラリア時代、会社のバルコニーでエフェクトチームの同僚と(前列右端が平井さん)。写真提供:『CGWORLD』。

ます。それでもVFXには、アート要素とプログラミング要素の両方があって、その絶妙なさじ加減が腕の見せ所であり、魅力でもあります。制作において、私が最終的な見栄え以上にこだわっているのが、そこに至るプロセスです。効率のよいアプローチで、理路整然とした「きれいな」プログラムを作るのができ、それが同業者から評価された時の喜びはひとしおです。

大学のデジタルコンテストが  
CGへ向かう原動力に

小学生の頃からパソコンに慣れ親しんでいて、「CG制作の授業もあるんだ」という軽い気持ちで法政の情報科学部に入学しました。ところが、そのCGの最初の授業でよりによって一番初めの操作を間違え、ついていけない



2008年度第4回デジタル・コンテストの静止画部門で優秀賞に選ばれた平井さんの作品『心が食る様に時を隠して』。

なってしまう(笑)。細々と独学を続け、2年次のデジタルコンテンツ・コンテストで優秀賞に選ばれて、自分の作品が人に評価された時のうれしさを知りました。今でも、それが私のモチベーションとなっています。

吉田健治教授のゼミでは、専用眼鏡をかけなくても立体に見える映像の研究に携わり、卒業後は立体映像のエンジニアとして中国の会社に勤務しました。たまたま海外勤務となりましたが、吉田先生の紹介でしたし、通訳も付いていたので、特に不安は感じませんでした。

30歳を機に  
海外就職に再びチャレンジ

中国の会社の解散に伴い、1年半ほどで帰国。その間に自分の制作スタイルにぴたり合うCG制作ソフト「Houdini」に出合っ、CG制作に携わってみたいという思いが強くなり、そのソフトのスペシャリストがいる会社に入社しました。

どんな作品を作った方がいいというアドバイスを受け、腕を磨いているうちに、そのソフトが日本でも普及し始めて、制作と並行して専門学校講師や書籍の執筆を手掛ける機会にも恵まれました。

CG制作で生活していける状況には

なりましたが、周囲から「30代になると新しいことに挑みにくくなる」と聞いていたこともあって、30歳を目前にして「このままでいいのだろうか」という漠然とした不安を抱くように。そんな時、海外でVFX制作に携わる方々の話を聞く機会があったんです。以前から、CGの質が高い海外の制作現場を見てみたい、英語を話せるようになりたいという思いがあったので、「チャレンジするなら今しかない」と決心し、英会話のオンライン講座で準備をして、海外企業の面接に臨みました。

やりたいことを仕事に  
それも一つの選択

海外で働いて感じたのは、制作予算が日本とは桁違いなだけに、オーストラリアにもカナダにも世界中から優秀な人材が集まっていることです。20代でも腕のいいスタッフが多いため、周囲に見劣りしないレベルを維持しなければというプレッシャーはありません。

せっかく日本を飛び出したからには、いろいろな経験をしたい、仕事と英会話のレベルアップを図り、海外生活も楽しみたいと思います。機会があれば、CGのクオリティーが驚くほど高いデザイン映画が、どのように作られているかを目にできれば何よりです。

学生時代の私は、「音楽でメシ食っていきたい」というバンド仲間の言葉を「世の中そんなに甘くないだろう」と受け流し、「留学して人生観が変わった」と聞けば、そんな短い期間で何が分かるかと斜に構えていました。でも、思い切って海外就職にチャレンジしてみたい、こう思います。「やりたいことを仕事にするのは、悪いことじゃないかもしれない」と。もちろん、それで十分な収入が得られるのか、自分の技量が通用するのかわよく調べ、考えることは必要でしょう。20代の学生、社会人の皆さんには、あまりステレオタイプに固執せず、自分の可能性を広げてほしいと思います。



**Hirai Toyokazu**  
1988年東京都生まれ。2007年情報科学部デジタルメディア学科に入学。2011年に卒業後、中国江蘇省無錫市の企業で立体映像の技術者を務める。帰国後、株式会社トランジスタ・スタジオでCGデザイナーとして経験を積む。2019年7月からMill Film、2021年1月からはImage Engine Design Inc.に勤務。





# 外交文書から考える 日本外交と民主主義

法学部国際政治学科 教授 高橋 和宏

## 天安門事件時の日本の対応

2020年末、1989年の天安門事件を巡る日本の外交文書が公開され、ちょっとしたニュースになりました。中国への非難を強めるフランスなどに対し、日本政府は中国を国際的な孤立に追いやることを懸念し、事件直後に開催された先進国首脳会議（サミット）では各国を説得して対中批判のトーンを和らげた、というものです。

現在の中国情勢から見ても、30年前の日本政府の対応が正しかったのかどうか、議論の分かれるところでしょう。ただ、当時の日本政府が何を考え、どのような情報を入力し、いかなる交渉をしていたのか、そうした外交のプロセスが「歴史」として国民に伝えられることは、民主国家として大切なことです。

## 外交と民主主義

交渉には秘密が伴うことがあります。特に外交交渉は、国の安全保障や経済的利益、あるいは国民の生命財産に直結するものが多く、すぐには公表できない情報が存在します。外交交渉に関する情報を無配慮に公開すると、相手国との信頼関係が崩れてしまうことも懸念されます。外交上の秘密は十分慎重に扱わなければならない。

しかし、そうだとしても、「国益」を理由に外交交渉の経過をいつまでもブラックボックスにしておくことは認められません。政府活動の一部である外交がどのようなものであったのかは、一定の時間がかかるにせよ、いずれ国民に還元されるべきものだからです。十分な情報を開示せず、政府が一方的に発信する歴

史観を国民に押し付けるのは、権威主義的な国家の特徴です。ちなみに、中国は冷戦後、欧米や日本にならって戦後期の外交文書を公開したことがありますが、政府に都合の悪い文書の存在が報じられた結果、すでに公開していた分を含め、外交文書へのアクセスを大幅に制限してしまいました。

つまり、外交機密と民主主義との間にはある種の緊張関係があるのですが、そのバランスを取るために、一定の期間が経過した外交文書を公開するという制度があります。多くの国ではその年限が30年なので、一般に「30年ルール」と呼ばれています。外交文書の公開は、秘密を伴う外交活動を国民の統制下に置くことを制度的に担保するものということができるでしょう。

日本では戦後30年を節目として、

1976年に戦後期の外交文書公開が始まりました。現在では外交文書は「国民共有の知的資源」として、港区麻布台にある外交史料館で公開されており、誰もが閲覧できます。また、外交文書のオンラインでの公開も進められ、上述した天安門事件での対応の文書などは外交史料館のウェブサイトで公開されています。

## 外交史研究の道

私の専門分野である日本外交史研究は、この外交文書を一次史料として、日本外交の歩みを「歴史」として叙述する学問です。特に関心のあるテーマは冷戦期の日米関係で、日米両政府が政権内部でどのような検討を行い、それがいかなる相互作用を経て帰結に至ったのかという外交過程を両国の外交文書を読み解きながら考えています。当時の政策担当者も把握できなかったような外交交渉の全体像を立体的に再現し、自分なりの解釈を見いだすことを課題としています。

卒業論文の執筆のために外交史料館を訪れ、初めて外交文書に触れたのは今から四半世紀ほど前のことでした。それ以来、どういった機縁か、私の研究人生は外交文書と共にあったような気がします。

私が研究を始めた1990年代は、外交文書がいつ公開されるのかも、どのような外交案件が公開文書に含まれるかも、利用者にはまったく分からない状況でした。そこで、大学院では2001年に施

行されたばかりの情報公開法を活用して外務省の文書を入力し、博士論文を書き上げました。情報公開法を利用すると、自分の関心のあるテーマを指定して期間内に文書を入力することができたので（期日は延長されることがしばしばでしたが）、外交史研究者にとっては大きな「武器」になりました。

大学院修了後、たまたま縁あって外交史料館に採用され、今度は外交文書を公開する側に身を置くことになりました。大学院生の頃は「日本は外交文書の公開が遅れている」などと文句を言っていたのですが、その批判がブーメランのように自分の身に降りかかってくるようになったのです。

私が入省したのは、ちょうど外務省内でも政府全体でも、歴史的に価値のある公文書の公開が政策課題として位置付けられていく時期でした。外務省内では、2010年に核持ち込みに関するいわゆる「密約」問題に関する調査が行われ、関連文書が大量に公開されるとともに、外交文書公開制度も刷新されました。また、2011年に施行された公文書管理法では、外交史料館や国立公文書館などでの歴史公文書の保存・公開が定められました。

そんな突風にあおられながら、外交史料館在職中は、外交記録公開制度の改正や公文書管理法の制定・施行の対応に没頭しました。研究者として感じていた制

度的な問題点の改善に行政官の一人として携わることができたのは、多忙ながらも充実した経験でした。その後、研究職を得て外交文書を利用する側に戻りました。大学での教育・研究に加えて、人事院の研修の講師として採用直後の国家公務員に公文書を残すことの意義を伝える授業も担当しています。

## 外交史研究と国際政治

現在、米中両国は「新冷戦」とも呼ばれるほど対立を深めています。「冷戦」というアナロジーが適切なのか、議論のあるところです。しかし、歴史はまったく同じ形で繰り返すことはないにせよ、核を持つ二つの大国が自国の政治・経済・社会体制の優位を巡って対峙した米ソ冷戦の歴史から学び得ることは少なくないはずです。

かつて吉田茂は、外交的なセンスのない国民は必ず凋落すると述べたことがあります。日本が敗戦へと転落していくのを外交官として目の当たりにした吉田の言葉は、今も重く響きます。そうした外交的なセンスを養うために、歴史を学ぶことは一助となるでしょう。外交史の研究は、現代の国際政治に「正解」を与えてくれるものではありませんが、複雑な象徴を長い時間軸に位置付けて冷静に俯瞰する「視座」を提供することはできるかもしれません。そういう願いを持って、大学で授業に取り組んでいるところです。



Takahashi Kazuhiro

1975年生まれ。専門分野は日本外交史。筑波大学第三学群国際関係学類卒業。同大学大学院国際政治経済学研究科修了。博士（国際政治経済学）。外務省外交史料館（2004～2011年）、防衛大学校（2011～2019年）を経て、現職。「ドル防衛と日米関係 高度成長期日本の経済外交 1959～1969年」（千倉書房、2018年）で第31回アジア・太平洋賞特別賞を受賞。



## 現場の肌感覚と透察する力を武器に 地方自治を多面的に探究

区職員として現場を知り、民間団体の研究員として視野を広げてきた経験を生かし、地方自治の探究にまい進する  
谷本有美子准教授。教員としても、学生らの学びをサポートすべく努めています。

社会学部社会政策科学科 准教授 谷本 有美子



### 疲弊する地方自治の現場に 募る危機感

行政の活動を基軸に、地方自治について研究を続けています。

もともとは東京の北区に勤務する自治体職員でした。市民と連携してリサイクル活動の拠点づくりに関わった職務経験から、自治体行政の活動領域の問題を提起したいと思い、研究者を志すようになりました。

地方自治を取り巻く環境は、自治体ごとに異なります。ある自治体で成功した取り組みが、他の自治体でも成功するとは限らない。自治体それぞれに個性があるのです。それは、自治体職員として働いていた現場で、肌感覚として認識していました。

一方で、制度は全国一律に適用されず。そこで、中央レベルで画一的に制度設計される地方自治への理解を深めたいと、中央政府から見た地方自治についての探究に着手しました。

日本では、地方自治法が1700を越える地方自治体に共通する基本ルールです。2000年の地方分権改革を経て、自治体の意思決定の自律性は高まりましたが、法制度の企画立案者は国で、画一性はそのままです。

日本最大の基礎自治体で人口370万人以上の横浜市と、伊豆諸島

にある人口170人弱の東京都青ヶ島村が同じ制度を運用し続けられるのか。分権後の自治体や仕組みはどうあるべきなのか。中央と地方との責任関係はこれまで通り曖昧のままではいいのか。市民自治という観点から多くの疑問は浮かびますが、残念ながらその点を疑問視するような議論は高まりません。

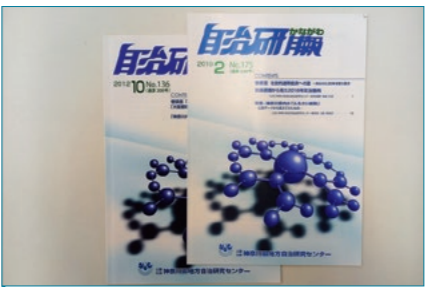
人口減少・少子高齢化、ライフスタイルの多様化が進む社会で、自治体職員の職務は多角化・複雑化しています。さらに追い打ちを掛けるように、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）が世界的に流行し、地域経済と住民感情の落ち込みに直面している現場では、制度の在り方を問うだけの余裕が持てずにいるのが実情でしょう。市民生活を第一に捉えたときに、自治体はどうあるべきなのか、多面的な視野で考察を続けていきたいと思えます。

**経験を重ねてたどり着いた今に感謝し、恩返ししたい**

2020年に社会学部に着任する前まで、神奈川県地方自治研究センターで研究員を務めながら、人間環境学部で兼任講師をしていました。3年次の演習形式の研究会も担当しましたが、その経験は衝撃的でした。人前で発表することもおぼつかなくなかった学生が、翌年度受講生に向けて就職



月に1度、がん患者や家族・遺族などが、互いの思いを語り合う「王子がん哲学外来メディカルカフェ」のボランティアスタッフとして活動を続けている



研究員時代には機関誌の編集業務にも従事。福祉、地方財政、災害対策など、幅広いテーマを扱う中で地方自治を巡る多面的な視座が養われた



自治体学会岡山倉敷大会分科会に登壇した際の一枚（1999年8月）。自治体職員や活動する市民、学界の第一人者との交流が学究への関心を高めた

活動の体験談などを語ってもらうと、見違えるような姿で快活に語り出す。人は1年でここまで変わるものか、その成長力に驚かされたのです。それまでは自身の研究を極めることに重きを置いていましたが、「この時期の若者たちの飛躍的な成長を見届けたい。教育者として、継続的に関わりたい」と感じ、専任教員への思いを強くしました。

社会学部の教員に着任してからは、多摩キャンパスで研究活動ができることの幸運に感謝しています。キャンパス周辺の町田市や八王子市、神奈川県相模原市などでは郊外住宅地を抱え地域の超高齢化とともに、空き家問題や公共交通の問題など、人口減少時代の都市問題が横たわっています。課題解決に向けて自治体は何をすべきか、寄り添って考えられるからです。

仕事を始めた時には、自分が研究者、教育者になるとは思っていませんでした。経験の積み重ねと好機の巡り合わせで、やりたいことにまい進できる「今」にたどり着きました。だからこそ、ここでも最善を尽くし、恩返しをしていきたいと考えています。

**社会を構成する大人同士として敬意を払って向き合いたい**

コロナ禍の影響で、2020年はほ

とんど対面授業ができず、ゼミ生との関わりも画面越しのオンライン授業が中心となってしまいました。この混乱の日々が落ち着きを取り戻し、学生たちと対面での交流や現地での学びを始める日を楽しみにしています。

社会に出たら、どこで暮らそうとも地方自治と無縁ではられません。この1年の状況で、自治体には各地域で人々の生命や生活を守る重要な役割があることも再認識されたはず。地域住民の一人として、自治体の動向には関心を持ち続けてほしい。また、自身や周囲が、社会課題に直面した際には、大学での学びを思い起こし、「実践知」として生かしてほしいと願っています。



### Tanimoto Yumiko

東京都生まれ。法政大学大学院社会科学部政治学専攻修士課程修了。博士(公共政策学)。東京都北区職員、東京財団リサーチフェロー、東京大学21世紀COEプログラム特任研究員、公益社団法人神奈川県地方自治研究センター研究員などを経て、2005年より人間環境学部兼任講師を務め、2020年より社会学部准教授に着任。現在に至る。



**多**摩キャンパスを中心に、泳ぎを楽しむ人が集った水泳同好会マリンドブルー。多摩キャンパスでは体育棟内にあるプール、他キャンパスでは公営のプールなどを利用して、週2回活動しています。「約50人いる部員は、高校時代にインターハイに出場経験を持つ実力者から初心者まで幅広く在籍。それぞれのレベルに合わせて、自由に泳ぐことを楽しんでいます」と語る高橋さん。「集中して泳ぎたい人も、適度な運動量を確保しながら気軽に楽しみたい人も、思い思いのスタイルで水泳を楽しめばいい。来られる時に来て自由に楽しもうという、穏やかな雰囲気大切にしています」とサークルの魅力の説明します。

合宿は、夏と冬の年2回開催。「普段はなかなか会えない他キャンパスのメンバーと交流できる貴重な機会なので、水泳の練習よりも親睦を深めることを目的に開催しています」と語るのは鈴木さん。「思い出すのは、伊豆方面に出掛けた2019年の夏合宿。同年代の仲間だけで合宿するのが初めてだったこともあり、熱海の海で泳いだ時も、バーベキューや観光をした時も、何もかもが新鮮で楽しかった。合宿後は、明らかにお互いの親近感が増えました」と笑顔を見せます。

### 水泳同好会マリンドブルー

初心者も実力者も  
自然体でのびのびと  
泳ぎを楽しむ



クラブ・サークル

※今回はオンラインで取材しています

上段左から、若王子寛人さん（経済学部国際経済学科3年／代表）、高橋優希さん（経済学部経済学科3年）、下段、鈴木志吹さん（現代福祉学部臨床心理学科3年）



多摩キャンパス体育棟内にあるプールでの練習の様子（写真は2019年）。2レーンを使い、初心者も経験者も思い思いに泳ぎを楽しむ



2019年の大学祭では豚串の屋台を出店。市ヶ谷キャンパス所属のメンバーも合流し、協力あって屋台運営を盛り上げた



定期的に共通の思い出を残すことで、日頃会えない他キャンパスのメンバーとの距離を縮めている。写真は、熱海で開催した2019年の夏合宿

「実力を試したい人は、『全日本学生水泳同好会連盟』が主催する大会に参加。首都圏にある10大学の水泳サークルが所属している連盟なので、他大学との水泳仲間と交流できる機会にもなっています。」

2020年は、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の影響で学校施設の利用が制限されたこともあり、活動は控えめになりました。感染予防に注意しながら、民間のプール施設で、希望者を中心に合同練習会を数回開催。あとは、ウェブ会議ツールを活用した週1回のオンラインミーティングでつながりを維持していたといいます。

「2021年の活動も、コロナの状況を見ながら計画を立てることになりそうですが、創部40年という節目の年なので、何かしら思い出に残る企画を考えたい。新入生はもちろん、ほとんど活動ができなかった2年生のフォロワーになるような活動をしていくことも考えています」と語るのは、代表の若王子さん。「先輩方が、初心者でも居心地良くいられる雰囲気を作り上げてくれたので、その伝統は守り続けたい。そのためにも、気兼ねなく集まれる日常に戻れる日を待ち望んでいます」と活動の再開を祈ります。

**都**市の建築・形態の特徴を捉えて分類や分析など建築設計に関する研究を手掛ける安藤直見教授研究室。4年生はすでに卒業論文のテーマを決めて、探究を始めています。

関根さんが着目したのは「バス停と街の関係性」。「身近な交通機関であるバス停は、停留所の場合や待合室まで設けられていたりスタイルは多種多様です。国内外の事例を調べながら、バス停に求められる機能やデザインについて考察を進め、顧客ニーズから見て求められているバス停の姿を提案していきたい」と語ります。

空き家問題を含め、住みやすい街づくりの姿を考察しているのは水之江さん。「人口減少と少子高齢化、環境問題などの解決策として、生活圏内を小さくして居住環境を整えようとする『コンパクトシティ』政策と、先端技術を駆使した未来都市づくりを目指す『スーパーシティ』構想に注目しています。これらの政策が有効に機能すれば解決策の一助になるのではないかと考えています」

「駅による城下町の分断」について探究を始めているのは宗田さん。地元姫路市では、姫路駅から城側エリアが観光地として栄え、反対側は生活に密着した施設などが集まり、大きく様子が異なります。以前は外

### デザイン工学部建築学科 建築空間研究室(安藤直見教授研究室)



個人の自由な視点で、  
都市形態の特徴や  
建築物の魅力进行分析

ゼミナール・研究室

上段左から、安藤直見教授、関根達矢さん、宗田あかねさん、下段左から、水之江隆匡さん、瀧莉紗さん ※全員デザイン工学部建築学科4年

※今回はオンラインで取材しています



2019年夏には卒業生を招いて「OB・OG講演会」を開催。学部生と大学院生も、それぞれが研究している内容を発表し、講評をもらった



2019年に開催した夏合宿は、大学院生も加わった合同合宿に。熱海の観光なども楽しみながら、学年を越えた温かな交流を広げた



「機会があれば、国際会議にも参加して視野を広げてほしい」という安藤教授の意向から、2019年には中国・昆明で開催された国際会議に参加

「国人観光客で城側エリアがにぎわっていましたが、観光客が激減してからは、様相は一変しています。こうした駅の両側で対比のある事例と現状を調べています」と語ります。

中国からの留学生で、現在は一時帰国中の瀧さんは、世界文化遺産に登録された中国屈指の景勝地である杭州西湖周辺を調査。「西湖北側の北山街は有名な旧居やホテルなど景観を意識した建築物が多く、対して南側の南山路は、水辺には建物がなく大型の公共施設などが位置しています。こうした特性の違いは、都市計画としてどのような意図が含まれているのか、空間形態分析を進めて、探っていくかと思っています」

それぞれ個人研究が中心ですが、「全ての研究テーマに関わるつもりで、自分以外の人の研究にも関心を持って取り組んでほしい」と語る安藤教授。しかし、2020年度は対面での活動が全て中止となり、交流の機会が減少。帰省や帰国している学生もいるので、少しでもつながりを持つ手段を模索しながら、ウェブ会議ツールなどを利用したオンライン経由での活動を続けています。

「状況を確認しながらになると思いますが、みんなが同じ場所に集まって対面で話せる時を楽しみにしています」と全員が声をそろえます。



# THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。  
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介しします。



## 準硬式野球部

撮影場所：法政大学多摩キャンパス  
野球場  
撮影：田中伸弥  
集合写真：準硬式野球部提供

準硬式野球部は、1946年に創立され、今年で75周年を迎えます。東京六大学連盟に所属しています。私たちが取り組んでいる準硬式野球は、ボールの中身は硬式球、表面は軟式球と同じゴムのボールを用いて行う野球スポーツです。ルールは硬式と変わらず、バットは金属、木製ともに使用することが可能です。これまでの戦績は2020年東京六大学秋季リーグ戦終了時点で、優勝回数47回を数えます。昨年はコロナ禍で思うように活動できない期間もありましたが、2021年度は、リーグ優勝と3年ぶりの全日本選手権大会出場を目標に、選手一同日々練習に取り組んでいます。これからも応援よろしくお願いいたします。

## Message

「自由な学風」の下で、自ら考え、行動する学生の声を届けます。

## ボランティアの在り方を考える

文学部哲学科4年  
市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ (VSP)

Sakuma Kino

佐久間 喜望 さん

ボランティアセンター学生スタッフ「VSP」は自分にとってのボランティアの在り方を自由に考えられる場所です。やるもやらないも自分次第で、多様な関わり方の人たちが共存しています。

私がVSPに入ったばかりの時は自分で企画を考えることには興味がなく、昼休みに実施されるエコキャップ回収や清掃活動にのみ参加するつもりでした。しかし、メンバーと話しているうちに他の活動にも興味が湧き、参加して、自ら主体となって企画を実施するまでになりました。企画実施に踏み出したのは、VSPが多種多様な企画を手掛ければ、同じ方向性の興味を持った人と協力しやすい環境であり、その中で生き生きと企画に取り組みメンバーから刺激を受けたためです。

コロナ禍で活動するにあたって、2020年度は「コロナ禍のせいではなく」「コロナ禍だからこそ」を考える一年となりました。その中で行った企画のうち、特に「オンライン居場所」が印象的でした。「オンライン居場所」は、オンライン上で子どもたちの居場所をつくるうとする取り組みです。コロナ禍で子ども食堂の開催が困難という実態



を知り、NPO法人バイタル・プロジェクトさんの協力の下で開催しました。この取り組みは「コロナ禍を生き抜く実践知」に値すると考え、2020年度の「自由を生き抜く実践知大賞」にエントリーしました。活動概要を人に伝えるために、実施内容や意義をあらためて確認し、整理することで、今後どのような取り組みをしていきたいか考えることができました。居場所づくりの活動は現在も進めており、対面でもオンラインでも対応できる形を模索中です。居場所づくりに限らず、現代社会の実態を学び、私たち学生にでき

ることは何かを考える機会を設けたことです。

ボランティアは「意欲や好奇心」と「社会需要」が一致してこそできることだと思っています。この考え方が正しいのかは考え続けるべきですが、活動のきっかけとなる動機は何であれ、やりたいことをやる延長で社会の需要と合致するという形が理想的だと思います。そのバランスをうまく考えられず失敗することも多々ありますが、私たち以上に多くの体験を積み重ねてきた先輩や職員の方々が見守ってくださっていることはとても心強いです。



※この取り組みはノミネートされ、表彰式でプレゼンテーションをする機会に恵まれました。





## 全国36支部 支部長よりひとこと 保護者の皆さまへ

茨城県支部

原 恵三子



今年で45年目を迎える会員数約600人の茨城県支部は、新入生父母の集いや支部総会などの活動を行っています。かの渋沢栄一も若い頃「水戸学」に傾倒し、自分の生き方や国家の行く末を考えたそうです。学生の皆さんは、しなやかに生き抜く力と精神性の高い学びを獲得してください。皆さまの後援会への積極的なご参加をお願いします。

秋田県支部

長谷川 雅子



秋田県支部では、会員数が少ないこともあり、皆さんとても仲良く活動しております。離れて生活するお子さまの心配をされている親御さんもいらっしゃると思いますが、後援会活動を通じて保護者同士の情報交換は、きっと安心材料になることと思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

北海道支部

木下 雄次



北海道出身の法政大学の学生数は、2021年4月5日現在464人で、人気の高い大学だといえます。例年は、支部活動を通じて学生生活・就職活動の相談などを活発に行っています。しかし、コロナ禍の現在は非常に厳しい状況です。今後は、未来につながる備えをしていきたいと考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

栃木県支部

高山 友樹



栃木県支部は1976（昭和51）年に設立され、現在の会員数は約350人です。新型コロナウイルスの影響で生活様式も一変し、不安も多いことと思います。こういう時にこそ情報交換のできる場を提供し、不安解消の一助になればと考えています。今後とも皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

山形県支部

笹原 聡



山形県支部では、校友会など、皆さまに支えられながら楽しく後援会活動を行っています。秋には、山形の風物詩である芋煮会を河原で開き、結束を深めています。昨年度は、50周年という記念の年でしたが、記念行事も芋煮会も自粛し、今年度に持ち越しです。今後は「子どもの学びを止めない」を合言葉に、大学に協力し支援を行ってまいります。

青森県支部

法量 忠博



青森県支部は、54年の歴史があります。昨年度はコロナ禍により、後援会活動も大きな制約を受けましたが、役員会では子どもたちの大学生活などの情報共有を図ってきました。まだまだ収束の兆しは見えませんが、後援会活動を通じて子どもたちをサポートしていきますので、皆さまのご参加をぜひお待ちしております。

群馬県支部

上原 政弘



群馬県支部は「子どもの母校は我が母校」をモットーに、法政ファミリーとして積極的に支部活動を行ってまいりました。しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大半の行事が中止となりました。今年度は中止ありきではなく、何ができるかを考え、皆さまが積極的に関わられるような企画をしていきます。ぜひお気軽にご参加ください。

福島支部\*

水野 賢一



福島支部は、福島県の県北・相馬地域の保護者約50人の組織です。小さい集まりだからこそ、顔が見える関係性を構築しながら、会員相互の親睦を図り、子どもたちを応援しています。コロナ禍で、活動はさまざまな制約を受けていますが、この状況にうまく適応した取り組みの姿を模索していきます。支部の皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

岩手県支部

鎌倉 明広



新入生父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。岩手県支部は今年創立55年を迎えました。コロナ禍の下、お子さまを東京へ送り出すのに不安もあると思いますが、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、父母同士で情報交換や不安・疑問点の解消などを行いつつ、交流をしています。ぜひお気軽にご参加ください。一緒に子どもたちを支えていきましょう。

新潟県支部

田中 稔



新潟県支部は創立50年を超えた伝統ある支部で、約300人の会員から構成されています。親元から離れ、生活する子や親同士が、大学を知り応援する場です。コロナ禍により子や親も不安な日々の中、支部では大学と連絡を取り、情報を配信していきます。総会などの実施方法も検討中です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

郡山支部\*

古賀 茂嗣



郡山支部は福島県の双葉郡、いわき地区、本宮市以南の県中・県南地区、会津地方にお住まいの保護者の集まりで、会員間の情報共有と親睦を深める活動を行っています。現在は、コロナ禍で活動に制限がありますが、こんなときだからこそ、連携をより深めていきたいと思っておりますので、皆さまの協力、連携をお願いします。

宮城県支部

木村 憲史



新入生父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、子どもたちが通常の大学生活に戻れることを願うばかりです。宮城県支部ではスローガン「子どもの母校は我が母校」の下、会員同士の情報交換を目的にさまざまな活動を行っています。大人数の会合は難しい状況ですが、工夫しながら運営に努めてまいります。

\*福島支部と郡山支部は合併を予定（2021年度の総会で決定）

### 「後援会総会」のご案内（本誌2021年4月号に既掲載）

法政大学後援会では会則第11条により、2021年度の総会を6月5日（土）に開催いたします。今回は関係者の招集は行わず、後援会ウェブサイト上で電子表決を行っていただき、その表決結果を受け決議をいたします。

法政大学後援会会長 清水 伸行

会員（保証人）の皆さまへ、議決権行使のお願い

#### ■ 議案

「2020年度事業報告(案)」「2020年度決算報告(案)」「2020年度監査報告」「2021年度事業計画(案)」「2021年度予算(案)」「2021年度役員選出について」

#### ■ 議案の閲覧・表決方法

後援会ウェブサイト(<https://www.hosei-koenkai.org>)の会員限定特設ページにて議案をご確認の上、各議案への賛否入力・登録にお進みください。表決の入力・登録にはログインが必要です。



#### ■ 表決期間:5月21日(金)～5月31日(月)

※表決の入力・登録がない場合は、議長に一任いただいたものとさせていただきます。電子表決のうち、賛成が過半数を超えた場合に可決とさせていただきます。なお、決議結果につきましては、後日、後援会ウェブサイトにてご報告いたします。

### 2020年度後援会表彰（学術分野）

後援会では毎年、公認会計士試験や国家公務員採用総合職試験などに合格した学生に対して、表彰を行っています。2020年度の学術分野では、31人に対して清水伸行後援会会長より表彰状と副賞が贈られました。

後援会ウェブサイトにて受賞者からのコメントを紹介しています。

#### 公認会計士試験(24人)

経済学部4年	飯塚 海渡	経営学部3年	野平 勇希	経済学部2年	伊藤 溪悟
経済学部4年	渡部 由伸	経営学部3年	鷹野 文哉	経営学部2年	西村 俊希
経営学部4年	早川 直子	経営学部3年	大石 明	<b>国家公務員採用総合職試験(7人)</b>	
経営学部4年	井上 悠人	経営学部3年	福島 望史	情報科学部4年	荒金 千尋
経営学部4年	小澤 優樹	経営学部3年	矢部 衛彦	法学部 4年	洞 裕貴
経営学部4年	南崎 瑛絵	経営学部3年	楼 嘉辰	法学部 4年	友松 豊
経営学部4年	坂代 芽生	経営学部3年	鈴木 健斗	生命科学部4年	関 隆宏
経済学部3年	福田 和真	経営学部3年	田中 大地	生命科学部4年	新井 亜美
経済学部3年	若杉 七海	経営学部3年	富田 将史	デザイン工学部4年	志村 綾音
経済学部3年	原田 裕太	経営学部3年	角田 昌弘	理工学部 4年	大塚 将真
経済学部3年	平沢 晃	法学部 2年	原 好乃	※学年は2021年3月時点	

#### 法政大学後援会

<事務局>〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4F  
TEL: 03-3264-9350 FAX: 03-3264-9367 E-mail: koenkai@hosei.ac.jp  
後援会ウェブサイト <https://www.hosei-koenkai.org/>



全国36支部 支部長よりひとこと

大分県支部

市原 隆生



大分県支部は昨年、結成20周年を迎えました。記念事業として予定していた総長による講演会は、コロナ禍で開催できませんでした。収束の見えない中で、会員間の連携に、大変苦慮しています。再び活気ある大分県支部を取り戻せるよう、会員皆さまと力を合わせて、この状況を乗り越えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

高知県支部

今橋 清子



高知県支部の会員は約30人です。現在、新型コロナウイルスの感染拡大で、オンライン授業やさまざまな制約下での生活となっており、入学されたお子さまへの心配は尽きないと思っております。情報共有の場として新入生父母の集い、支部総会・父母懇談会を開催し、心配や不安を少しでも解消できればと考えています。皆さまのご参加をお待ちしています。

山口県支部

山田 永代



山口県支部では、後援会行事を通して、大学との情報交換や保護者同士の交流を行っております。昨年度はさまざまな行事が中止となりましたが、今年度は十分な感染症対策を講じ、新入生父母の集い、支部総会・父母懇談会を開催予定です。2020年度・2021年度入学の保護者の皆さま、支部会員の皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。

関西支部

岩本 雄行



関西支部は大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の6府県で構成されます。通常は新入生父母の集い、支部総会の他、スポーツ応援、キャンパス見学などの活動を行っています。現在は対面での活動は自粛していますが、大学と情報を共有し、皆さまの不安解消に少しでも役立つよう心掛けています。安心してお会いできる日が来ることを望んでいます。

長野県支部

矢沢 秀弘



昨年、創立30周年を迎えた長野県支部は、約370人の会員で構成されています。コロナ禍で活動に制限もありますが、2021年6月5日（土）に新入生父母の集い、7月25日（日）に30周年記念行事を開催する予定です。大学関係者の方の講演会をはじめ、会員にとって有意義な情報を提供したいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

富山県支部

鎌口 哲



富山県支部では、「新入生父母の集い」「支部総会・父母懇談会」「キャンパス見学会・六大学野球応援」などを実施し、大学の魅力が感じられ、会員同士の交流を図れる活動を行っております。学生・保護者ともに今は大変な状況と思われませんが、支部活動が不安解消の一助になれば幸いです。どうぞお気軽にご参加ください。

宮崎県支部

青木 雄正



宮崎県支部では、親同士の積極的な交流によって、子どもたちの情報交換を行い、時には大学、校友会の皆さんから、子どもたちの生活環境や学習状況、就職活動などの有意義なお話を伺っております。楽しく笑いあふれる雰囲気の中で、後援会活動をしていますので、お気軽にご参加ください。

福岡県支部

梶木 由美子



福岡県支部は、昨年度はコロナ禍により活動ができませんでしたが、今年度はオンラインを取り入れ、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に再始動いたします。遠く離れて暮らす子どもたちの学業や学生生活などの情報共有ができるよう、コミュニケーションを図り、アイデアを出し合って活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

徳島県支部

先川 博司



徳島県支部は会員数の少ない支部ですが、年間を通してさまざまな行事を開催し、親睦を深めてまいりました。現在、コロナ禍の影響で思うような活動が行えず、また今後も予想がつかない状況ではありますが、後援会活動を継続すべく可能な範囲で取り組んでいく所存です。つきましては、会員の皆さまの積極的な参加をお願い申し上げます。

鳥取・島根県支部

佐々木 岳彦



鳥取・島根県支部は、20年以上続くアットホームな雰囲気のある支部です。山陰から東京の大学を目指す学生が少なく、子どもたちは志を持って法政大学を選びました。私たちは見守ることしかできませんが、さまざまな心配を少しでも解消できる場になればと思っています。法政大学でつながったこの「ご縁」を大切に、共に盛り上げていきましょう。

静岡支部

遠藤 克予



現在340人で構成される静岡支部は、昨年、設立50周年を迎えました。役員一同決意も新たに、支部活動の本分である「学生の活動支援」を行うため、一丸となって情報発信に努めてまいります。支部総会・懇談会、新入生父母の集い、箱根駅伝応援ツアーなど会員同士の交流を深める活動も企画しています。皆さまのご参加をお待ちしております。

石川県支部

坂下 智弘



石川県支部は、今年30周年を迎えます。コロナ禍で昨年度に引き続き、今年度も後援会活動に制約があり、新1・2年生の保護者の方々とうまく交流していけるだろうかという不安もあります。しかし、「無理なく、できる範囲で」をモットーに緩やかな交流・情報交換を行い、支部を運営していきたいと思っています。ぜひお気軽にご参加ください。

鹿児島県支部

加治 亮一



鹿児島県支部は会員約50人です。昨年は年中行事で開催してきた「新入生父母の集い・県出身者学生交流会」もコロナ禍で中止せざるを得ませんでした。このような困難に際しても、学業と青春謳歌（おうか）に専心できるように、「地縁」を共有する親の集まりとして支部一同、学生たちの支援に努めてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

佐賀・長崎県支部

堤 格



後援会は、保護者向けの情報を得ることができ大変貴重な場です。新入生父母の集いや支部総会・父母懇談会では、会員からの体験談や大学教職員からの現状の説明、就職活動に関する情報などを聞くことができます。コロナ禍の大変な今だからこそ、保護者の協力が不可欠です。ぜひ子どもたちのために参加をお願いいたします。

香川県支部

山本 礼子



香川県支部では、情報共有や意見交換を、以前の対面に代えて郵便やメールで継続するなど、保護者の方々とのつながりを大切にしています。小さな支部ではありますが、子どもたちが充実した大学生活を送れるように、無理のない範囲で後援会活動を行っていければと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

岡山県支部

杉岡 智香子



新入生父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。また、2020年度入学式が2021年度と同時に開催されましたこと、心より喜び申し上げます。コロナ禍で、後援会活動は変化を余儀なくされています。そのような中でも、後援会活動を支える役員会は保護者同士の情報共有の場となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

浜松支部

村松 正祥



浜松支部は今年50周年を迎えますが、残念ながらコロナ禍により、苦渋の決断で周年行事を中止しました。また、昨年以來、通常の後援会活動すら思うように行えていません。一日も早くこの状況が収束して、何の制限もなく、後援会活動を通じて会員の皆さまや大学との情報交換、親睦の機会が持てることを願うばかりです。

福井県支部

河原田 武



福井県支部は約50人の小規模な集まりです。合格を大変喜び、日々本当に楽しそうに大学に通っている娘の姿を見て、私も一緒にキャンパス生活をしてみたいと思い、後援会活動に参加しました。イベントに参加するたびに、私自身も法政大学の学生気分やOB気分を味わうことができ、大変ありがたく貴重な経験でした。皆さまぜひご参加ください。

沖縄県支部

知名 理花



新入生ご父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。沖縄県支部では新型コロナウイルス感染症対策を万全にして、2021年5月30日（日）に「新入生父母の集い」、8月29日（日）に「支部総会・父母懇談会」を開催予定です。遠く離れて暮らすお子さまの学生生活や就職活動の状況など、子どもからは得ることの少ない情報を得られます。どうぞお気軽にご参加ください。

熊本県支部

堀川 順司



熊本県支部は「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、全ては遠く離れた子どもたちが素晴らしい学生生活を送れるよう、会員間の情報交換・交流の場として和気あいあいと活動しております。なお、今年度は2021年6月19日（土）に「新入生父母の集い」、8月29日（日）に「支部総会・父母懇談会」を開催予定です。どうぞお気軽にご参加ください。

愛媛県支部

石山 豊城



愛媛県支部では従来、支部会議や父母懇談会などを通じて保護者同士の交流を深め、学生生活や就職活動に関する情報収集の場づくりやスポーツ応援ツアーなどを企画してまいりました。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら活動してまいりますので、皆さまのご参加をお待ちしています。「子どもの母校は我が母校」です。皆さま、一緒に盛り上げていきましょう。

広島県支部

藤井 克彦



広島県支部では例年、新入生父母の集い、支部総会・父母懇談会、キャンパス見学会・六大学野球応援、出雲駅伝応援日帰りバスツアーなど、大学関係者との情報交換や保護者同士の交流を行っています。残念ながら昨年度はコロナ禍で各行事が中止となりましたが、今年度はいくつかの行事を企画中です。後援会活動への参加をぜひお願いいたします。

東海支部

山崎 誠人



東海支部は愛知、岐阜、三重の3県で構成され、会員は約800人です。昨年はコロナ禍で中止しましたが、例年、新入生父母の集い、支部総会・父母懇談会、キャンパスツアー・六大学野球応援や箱根駅伝の応援などの楽しい活動を通して、大学や子どもに関する情報共有をしています。皆さまのご参加をお待ちしております。

山梨県支部

石黒 仁



山梨県支部は設立21年目を迎えました。コロナ禍や「DX」など大きな社会変化が感じられる中、学生生活や就職活動への不安が高まっています。「新入生父母の集い」「20周年記念支部総会・父母懇談会」などの活動を通して、親同士が活発に交流し、子どもたちをサポートしていきましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。





HOSEI ミュージアム  
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

## 日本スキートの礎を築く 福岡孝行と法政大学白馬山荘

戦後、ドイツ語講師として本学に着任した福岡孝行は、生涯を通じてスキー技術を探求し、スポーツ文化の振興に貢献しました。1913（大正2）年、東京に生まれ、中学時代から陸上競技選手として活躍した福岡は、トレーニングの一環としてスキーに親しんでいました。東京帝国大学（現・東京大学）在学中には、白馬（長野県）を含む北アルプスの山々を舞台に映画『スキートの寵児』を製作。また、早くから外傾・外向による舵取りの技術を取り入れ、『オーストリアスキー教程』をはじめとする数々の翻訳書を世に送り出しました。

オリンピック開催地にも引けを取らない理想的な地形を発見し、スポーツによる地域発展を目指す福岡は、地元の青年たちと共に山の大木を切っては里に降ろし、スキーコースを開拓しました。この地で1947年に始まり、現在も続くリーゼンスラローム（大回転）大会は、技術や経験を問わず、誰もが参加できる大会として知られています。大会の存在は白馬のスキー人口の裾野を広げ、日本におけるスキーの発展に貢献することとなりました。

38歳で本学に着任した福岡は、「体を動かす喜び、自然との調和を感じてほしい」として公開講座「オーストリアスキー教室」を開き、1958年から亡くなるまで20年以上にわたりスキー部部長を務めます。こうして本学と白馬のつながりが深まる中、福岡が中心になって進められたのが、1965年の法政大学白馬山荘建設です。白馬山荘は、スキー板を履いたままグレンデとの往復ができる場所にあり、大学のスキー授業も充実しました。山荘はその後、同地が1998年長野冬季オリンピックのジャンプ台建設地に選ばれたため移転し、2017年に運営を終了した後は白馬高校学生寮として利用されています。

八方尾根が長野オリンピックのアルペンスキー会場に選ばれたことは、福岡に先見の明があった証しとなりました。福岡の存在は本学にとっても白馬の人々にとっても誇りであり、スポーツを通じて仲間や自然と交流するという福岡の理念は、没後40年を迎える現在まで、引き継がれています。

### 2021年度上半期テーマ展示 「HOSEIスポーツの原点」

昨年度に続き、今回は陸上競技部、スキー部、テニス部の原点を形づくった人物やエピソードを紹介  
場所：市ヶ谷キャンパス九段北校舎1階  
詳細：HOSEIミュージアムウェブサイト  
(<https://museum.hosei.ac.jp>)



- 1 福岡孝行(1979年)
- 2 「自然なスキー」(1948年、小笠原書房)をはじめ、福岡孝行による多数のスキー関連の著作、翻訳書は日本のスキー文化発展に大きく貢献した
- 3 1970年代の法政大学白馬山荘(長野県)。名木山グレンデから東へ10分ほどの山腹に位置していた

## 校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化により校友憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。

### 校友会ウェブサイト 2021年4月リニューアル!

各種イベント、卒業生情報、20・30代の卒業生が集う「法政オレンジコミュニティ(HOC)」の活動、卒業生が経営するお店情報「法政オレンジMAP」など多彩な情報を掲載



校友会ウェブサイト

法政大学の卒業生は、累計50万人に上っています。卒業生は、卒業後5年間は、卒業年度ごとの組織である「年度同期会」へ所属します。その後は、各自が自由に団体を選択し、その活動に参加できる仕組みとなっています。卒業生団体の中核を成しているのが、校友会員が40人以上在籍する「パートナー組織」です。現在、全国各地の地域校友会、学部・付属校同窓会、職域やサークルの卒業生団体など、81の団体があります。この他、校友会員が40人未満であっても、活発に活動しているOB・OG会や海外団体なども多数あります(下の一覧を参照)。校友の輪をさらに広げるためにも、ぜひ興味のある卒業生団体へ入会してください。

## 81のパートナー組織 大学時代の延長線上に

### 校友会の卒業生団体

#### <地域校友会>

(北海道ブロック・北東北・南東北ブロック)  
北海道校友会、青森県校友会、岩手県校友会、秋田県校友会、宮城県校友会、山形県校友会、福島県校友会  
(北関東・東京・南関東ブロック)  
茨城県校友会、栃木県校友会、千葉県校友会、東京都校友会、神奈川県校友会、山梨県校友会、静岡県校友会  
(関西・北信ブロック)  
群馬県校友会、埼玉県校友会、新潟県校友会、富山県校友会、石川県校友会、福井県校友会、長野県校友会  
(中部ブロック)  
岐阜県校友会、愛知県校友会、三重県校友会  
(近畿・関西ブロック)  
滋賀県校友会、京都府校友会、奈良県校友会、大阪府校友会、兵庫県校友会、和歌山県校友会  
(中国ブロック)  
鳥取県校友会、島根県校友会、岡山県校友会、広島県校友会、山口県校友会  
(四国ブロック)  
徳島県校友会、香川県校友会、愛媛県校友会、高知県校友会  
(北九州・南九州ブロック)  
福岡県校友会、佐賀県校友会、長崎県校友会、大分県校友会、熊本県校友会、宮崎県校友会、鹿児島県校友会、沖縄県校友会

#### <学部・付属校同窓会>

法学部同窓会、文学部同窓会、経済学部同窓会、社会学部同窓会、経営学部同窓会、理系同窓会、人間環境学部同窓会、スポーツ健康学部同窓会、法政大学通信教育部校友会、三一・三六法A会、法政大学高等学校同窓会、法政大学第二中・高等学校同窓会、法政大学女子・国際高等学校同窓会

#### <卒業生団体(体育会・サークルなどのOB・OG会)>

国際法研究会校友会、アカデミー合唱団OBOG会、アリオンコールOB会、第一文化連盟OB富士見会、アメリカンフットボール部OBOG会、法友柔道倶楽部、ボクシング部校友会、応援団OBOG会、法政大学柔友会、義和会OB会、ラグビー部OB倶楽部、ワンダーフォーゲルクラブ、山想会、体育会自動車部OB会、剣道会剣友会、ゴルフ部校友会、法政大学スケート部OB・OG倶楽部、法政剛柔会、体育会空手部拳友会、工体連OB会、法友体育会、法友野球倶楽部、法政大学外濠会、法友さくら会、落語研究会OB会、法泳会、法友陸上クラブ、法友ヨット倶楽部、法政大学交響楽団OB会、富士見合気道友会、体育会テニス部OG・OB会、法政大学自主マスコミ講座OBOG会、法友会フェンシングクラブ

#### <卒業生団体(職域)>

都庁法友会、千葉県庁法友会、日立橙和会、日立キャピタル法友会、三菱東京UFJ富士見会、文化・フジタオレンジ法友会、西松建設法友会、(株)パイロットコーポレーション、鹿島建設法友会、戸田建設法友富士見会、法政財界人倶楽部、公認会計士法友会、法政会計人会、東京法政ライオンズクラブ、(一財)法政大学経営者懇談会、不動産鑑定士法友会、建設・不動産法友会、法政大学マスコミオレンジ会、出版・取次オレンジ会、法政大学教職員校友会、法政大学法曹会、全国法政大学市長会、行政書士オレンジ会、法政大学中小企業診断士オレンジ会

#### <海外団体>

法政大学シンガポール校友会、韓国校友会、社團法人日本法政大学臺灣校友会、サイゴン校友会、法政大学ハノイオレンジ会、法政大学フィリピン校友会、法政大学タイ・バンコク校友会、法政チャイナ校友会、法政大学アジア賢友校友会、ニューヨーク校友会、サンフランシスコ支部、ロサンゼルス校友会、法政大学HAWII法友会、英国法友会、フランス校友会、ドイツ校友会、ベルギー校友会

一般社団法人法政大学校友会(会長:佐々木郁夫)  
事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学九段校舎4F  
TEL: 03-3264-1831 / Eメール: info@hoseinet.or.jp

※校友会員:終身会費3万円を納入し、校友会に入会した方。2014年3月以降の卒業生は、卒業と同時に校友会員。



## デザイン工学部都市環境デザイン工学科の学生が「アーバンデータチャレンジ2020(UDC2020)」銀賞受賞

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が主催する「アーバンデータチャレンジ2020(UDC2020)」において、デザイン工学部都市環境デザイン工学科社会空間情報研究室(今井龍一教授研究室)所属のチームJinによる作品「迷わず乗れるもん」が「道路・交通」テーマのアイデア部門で銀賞を受賞しました。  
◆チームJinメンバー(※学年は受賞当時)  
野崎琉加さん、山本忍さん(4年)、住吉諒さん、野村圭哉さん(3年)

## 「第24回日本学生ハーフマラソン選手権大会」陸上競技部の鎌田航生選手が優勝

3月14日(日)に開催された「第24回日本学生ハーフマラソン選手権大会・第24回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会兼 FISUワールドユニバーシティゲームズ\*(2021/成都)日本代表選手選考競技会」にて、陸上競技部の鎌田航生選手(社会学部4年)が優勝。箱根駅伝1区での区間賞獲得に続く、快挙を達成しました。



鎌田航生選手  
(写真提供:陸上競技部)

※ユニバーシアード競技大会から改称

## 六大学野球で廣瀬克哉総長が始球式を行う



廣瀬克哉総長の始球式での投球

先発し、ノーヒット完投の力投を見せた三浦銀二選手

4月10日(土)、東京六大学野球2021春季リーグ戦が開幕し、本学の廣瀬克哉総長が始球式を行いました。廣瀬総長のサウスポーから投げられた球は、見事ノーバウンドでキャッチャーミットに収まりました。開会式では、今期、東京六大学野球連盟の理事長となった本学野球部の神谷健司部長(経営学部教授)が開会の挨拶を述べました。

同日、第二試合で法政大学と慶應義塾大学が対戦し、廣瀬総長も見守る中で、今期主将となった三浦銀二投手(キャリアデザイン学部4年)がノーヒットに抑える力投を見せ、2対1で見事勝利を飾りました。本試合は「ノーヒット・ワンラン」(ヒットは0本だが1得点)という六大学野球史上で3回目、プロ野球でも過去4回しかない大変珍しい記録を達成した試合となりました。

## 多摩地域交流センターが「第36回多摩シンポジウム×地域交流DAY2020」を開催



当日の録画

2月21日(日)、多摩地域交流センターが主催した「第36回多摩シンポジウム×地域交流DAY2020—コロナ禍だからこそこの「地域活動」〜今、学生が地域から求められていることは何か〜」が開かれました。

第1部「地域交流DAY」では、多摩キャンパス周辺で地域活動に取り組む学生プロジェクト14チームと多摩地域交流センターの学生スタッフが活動を報告。第2部「多摩シンポジウム」では、町田市・八王子市・相模原市の三市からパネリストを招き、コロナ禍の地域の現状について講演していただきました。地域と大学・学生の連携をテーマとしたパネルディスカッションでも、活発な議論がなされました。

## HOSEIミュージアム開設記念シンポジウム「都市と大学—三大学の源流」をオンライン開催

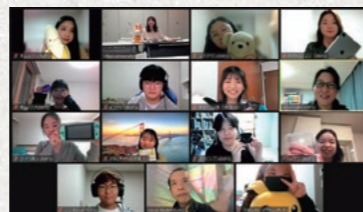
3月20日(土)、HOSEIミュージアムで開催中の「開設記念特別展示 都市と大学—法政大学から東京を視る」の併催シンポジウムとして、法政大学・関西大学・明治大学の三大学連携事業「都市と大学—三大学の源流」がオンライン開催されました。

今回のシンポジウムでは、三校の法律学校としての創設期、そして大学昇格、総合大学への展開期に焦点をあて、とりわけ、江戸から東京、なにわから大阪への都市形成と大学形成の密接不可分な関わりについて、論じられました。



当日の録画  
(9月末まで視聴可能)

## 釜山外国語大学(韓国)とオンライン学生交流会を開催



法政大学総長室付教学企画室では、オンラインで海外の大学生とコミュニケーションを図る「オンライン学生交流会」を実施しています。3月25日(木)に「流行っているもの」をテーマに、韓国の釜山外国語大学と6回目のオンライン交流会を開催しました。今後もさまざまな国の大学生とのオンライン交流会を企画していきますので、ぜひご参加ください。



## 「地域発デジタルコンテンツ」において総務省関東総合通信局長賞を受賞

総務省主催の「地域発デジタルコンテンツ」において、本学学生らが総務省関東総合通信局長賞を受賞しました。(※学年は2020年度時点)

◆作品名:出撃、法政ロボ  
四方田寛太さん  
(情報科学部4年)

◆作品名:2040  
小島泰造さん、八木下悠太さん、時永恭伸さん  
(全員、社会学部2年)

◆作品名:身近なSNSトラブルを防ごう  
小野日菜さん(キャリアデザイン学部2年)  
また、「法政大学デジタルコンテンツ・コンテスト」を開催し、学生のデジタルコンテンツの制作意欲と制作技術の向上の場となる環境づくりに尽力したことに対して、本学は昨年に引き続き、団体表彰を受けました。



作品はこちらよりご覧ください

## 3大学合同IRフォーラム「コロナ禍におけるこれからの大学教育を考える」を開催

3月6日(土)、法政・明治・関西大学連携協力協定の取り組みの一環として、関西大学教学IRプロジェクトの主催で、3大学合同IRフォーラム「コロナ禍におけるこれからの大学教育を考える」が開催されました。

本学からは、総長室付大学評価室IR担当の井芹俊太郎氏が事例報告を行い、パネルディスカッションには、総長室付大学評価室長の川上忠重理工学部教授が参加。最後には、廣瀬克哉総長より総括コメントをいただきました。全国から約230人が参加したフォーラムは、盛況のうちに終了しました。



## 市ヶ谷ボランティアセンターが岩手宮城被災地スタディツアーを開催

3月12日(金)~13日(土)に、市ヶ谷ボランティアセンター所属のチーム・オレンジの学生スタッフが企画・運営した「岩手宮城被災地スタディツアー」が実施されました。2019(令和元)年9月に開館した東日本大震災津波伝承館を訪れ、岩手県山田町の視察を行い、東日本大震災がもたらした被害の大きさを振り返りました。

コロナ禍で、制約がある中でのスタディツアーでしたが、現地に足を運ぶことにより風化防止や防災意識を高めた、有意義な2日間となりました。



## 「法政大学ブランディング事業報告書」を発行



法政大学  
ブランディング  
事業報告書

本学の2014~2020年度のブランディング活動をまとめた「法政大学ブランディング事業報告書」を発行しました。法政大学ブランディング事業の活動は、本学長期ビジョン(HOSEI2030)の一環として2014年度に「ブランディング戦略会議」を設置したことに始まり、その活動は2016年度からは「ブランディング推進チーム」へと受け継がれて現在に至ります。本事業報告書では、この7年に及ぶ法政大学におけるブランディング事業の取り組みや経過をたどり直しました。

## 通学定期券の購入について

「通学定期乗車券」は、通学を目的として、自宅最寄り駅から所属キャンパスの最寄り駅までの区間に限り購入できます。大学に届け出ている区間に基づいて正確な情報を記入し、不正をすることなく正しい購入手続き、使用をお願いします。

<鉄道利用時>

「学生証」が「通学証明書」を兼ねているので、学生証裏面シールに「現住所」「通学区間」を記入の上、各鉄道会社窓口で購入してください(裏面シールは、毎年4月初旬に保証人様宛てに郵送していますので、各自で必ず貼り替えてください)。

<バス利用時>

鉄道同様、学生証を提示し、利用するバス会社の営業所などで購入してください。

多摩キャンパスでは、生活協同組合店舗で、本学学生専用定期券や回数券の取り扱いも行っていきます。

## 学習ステーション主催で「新入生サポート」を実施

4月1日(木)~9日(金)にかけて、新入生が充実したキャンパスライフをスタートできるよう、大学生活に関して気になることを自由に先輩に相談できる「新入生サポート」が実施されました。

今回は学習ステーションでの対面相談とオンライン相談の2種類の相談形式が設けられ、延べ600人を超える新入生が利用しました(対面相談は、マスク着用やアルコール消毒などの感染対策を講じています)。

履修や授業などについての不安なことや、オンライン授業の実状などについて新入生からの質問に対応。先輩からの体験談を交えたアドバイスが語られました。





本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

# BOOKS



## 社会福祉の原理と政策

社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の共通科目「社会福祉の原理と政策」のテキスト。カリキュラムを包含した内容に編者が一部加え、学びやすく編成した。歴史や理論を順に学び、福祉政策について丁寧に説明して理解を促す。業務を行うだけでなく、既存の制度では対応が難しい問題に立ち向かえるソーシャルワーカーになるために必要な知識を学べる書。

岩崎晋也 他4名 監修・編著  
現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授  
出版社：ミネルヴァ書房  
発行：2020年12月



## 宮沢賢治論 心象の大地へ

「虹や月明かり」からもった膨大な「心象スケッチ」は、つながり、重なり、変容し、不整合なまま、やがて〈心象の大地〉として積み上がる――。テキストにはらまれる矛盾や食い違いこそ賢治文学のリアルと捉え、その正体を求めてイーハトーブ（岩手県をモチーフとした、宮沢賢治の心象世界にある理想郷）を踏査し続けた、著者25年の集大成。

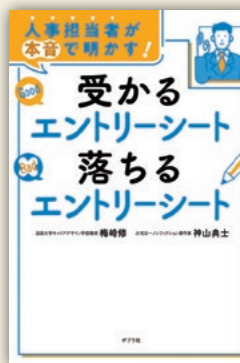
岡村 民夫 著  
国際文化学部国際文化学科 教授  
出版社：七月社  
発行：2020年12月



## イギリス契約法の基本思想

商品やサービスの取引で、契約法はどのように機能するのか。契約関係に伴うリスク（締結した契約が、当事者の一方にとって不利な取引になる可能性）の管理、裁判所による契約や条項の執行の拒絶、市場で取引できるものの限界、契約法と贈与に関する法の相互作用など、イギリス契約法に関する基本的な考え方を解説。

ニコラス・J・マックブライド 著  
菅 富美枝 訳  
経済学部経済学科 教授  
出版社：成文堂  
発行：2020年9月



## 人事担当者が本音で明かす！ 受かるエントリーシート 落ちるエントリーシート

キャリアデザイン学部教授という就職活動のプロと、大宅ノンフィクション賞を受賞した作家・神山典士氏がタッグを組んで、各社の人事担当を徹底取材。採用担当者の心をつかみにする「文章テクニク」の数々で、どの業種にも必ず通用する「エントリーシートの書き方」を伝授する。

梅崎 修 他1名 著  
キャリアデザイン学部  
キャリアデザイン学科 教授  
出版社：ポプラ社  
発行：2021年1月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

## 法政大学生協同組合書籍部より

### <小金井キャンパス> コロナ禍での2度目の春

2020年はあれよあれよという間に緊急事態宣言が発令され、オンライン授業となりましたが、生協では何とか教科書を発送することができました。

2021年は様子が分かるようになり、少しずつですが、登校を前提とした準備も併せて行っています。2年次になって初めて生協を訪れるという学生さんものではないでしょうか。可能な限りの感染対策を取り、キャンパスライフを楽しんでいただけるよう、スタッフみんなで頑張っています。

小金井キャンパス東館地下1階の食堂ホールは、全ての席に透明なパーティションが入りました。なかなか壮観な眺めで、安心して過ごすことができるのではないかと思います。(小金井購買書籍部)



## HOSEI 5月号

令和3年5月20日発行  
第48巻第4号（通巻723号）

発行 法政大学 総長室 広報課  
〒102-8160  
東京都千代田区富士見2-17-1  
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



※田中優子総長は2021年3月にて任期満了により退任しました。

■ Award

2020年度

自由を生き抜く実践知大賞 2

2020年度「自由を生き抜く実践知大賞」には大学憲章を体現するような実践の取り組みとして10件がノミネート。厳正な審査にて、大賞と大学憲章に連なる本学の理念などのキーワードを冠した4賞、オンライン投票による「よき師よき友が選ぶ実践知賞」の計6賞が選ばれました。ここでは、それぞれの受賞の取り組みを順に紹介します。

## 自由な学風賞 よき師よき友が選ぶ実践知賞

「家で使える図書館サービス 他」（実践主体：図書館事務部）



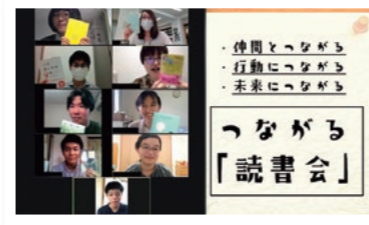
### ノミネート理由・活動概要

図書館ウェブサイトの特設記事「家で使える図書館サービス」は、図書館のオンラインサービスの利用方法をまとめたコンテンツです。学年ごとのニーズに対応し、自宅から利用する際のVPN接続方法など、図書館オリジナル解説ページを作り、ワンストップの案内を目指しました。①雑誌・紀要論文の複写送付サービス（期間限定）、②オンラインでのレファレンスサービス、③郵送による図書貸出など、来館不要のサービスも継続して行っています。

オンラインで利用できるコンテンツも充実。「基礎ガイダンス動画」・「データベース活用講座」等オンデマンドコンテンツを作成し、利用例を紹介する意味で「図書館による文献情報検索講習」、「Authors' Workshop=アクセプトされるための論文作成のコツ」、「企業・業界情報調べ方セミナー」、「HOSEI Search + RefWorks講習会」など、多彩な講習会を開催。いずれも好評を博しました。

学生同士のつながりと居場所をつくることを目的に、各種交流イベントも企画。オンライン上でのミーティング「つながる読書会」は、テーマを変えながら毎月1回程度のペースで実施を続けています。ライブラリーサポーターとの共同企画「2020年に一番面白かった本でつながる読書会」、「読『新聞』会—新聞の読み方革命—」などは、大いに盛り上がりました。

さらに、「市ヶ谷図書館だより」のウェブ掲載、Twitterを利用した「140文字の本紹介」、知的書評合戦「オンライン・ビブリオバトル」、「芋づる式読書マップ」の作成など、ライブラリーサポーターをはじめとした学生が主体的に参加するオンライン企画も継続的に実施されています。



「つながる読書会」の様子



コロナ禍での取り組みは左記QRコードをご覧ください

### 田中前総長からの選定理由コメント

コロナ禍においてこそ成し得た取り組みです。アクティブ・ラーニングのための場所となりつつあった図書館を、オンラインで参加できるものにした意味は大きいでしょう。これを臨時の取り組みとせず、これからの図書館の在り方として、さらに進めてほしい。誰もがアクセスできる学びの場は、法政大学の「自由な学風」を押し進めるものであり、「コロナ禍のライブラリーサポーターの取り組み」も含んで「自由な学風賞」としました。職員と学生スタッフの協力関係も、素晴らしい実践でした。

### 受賞者からの感想

図書館では、コロナ禍の中、来館利用を前提としない新しい図書館サービスの提供に取り組みました。この実践は、言うまでもなく、これまで培われてきた法政大学の「自由な学風」の中でこそ成し得たことです。この賞をライブラリーサポーターの皆さんと共に受賞できたことを誇りに思います。

投票による「よき師よき友が選ぶ実践知賞」の受賞も思いもかけない喜びでした。今後、より多くの方に図書館をご利用いただけたら幸いです。(図書館事務部一同)

### 今後の展望

図書館は今、知を集積する場から、知を活用する場へと、よりアクティブなものへの変化の時を迎えています。田中前総長よりコメントをいただいたとおり、単に本を借りるところではないこれからの図書館の在り方を実現してまいります。

具体的には「電子媒体を活用したサイバー空間としての図書館機能」と「物理的空間としての図書館施設・設備」の二つを融合させたスマートライブラリーを目指します。また、利用者とのコミュニケーションをさまざまな方法で図り、知的好奇心を喚起するようなサービスを拡充していきます。

このように、法政大学図書館は「知」との出会いと新しい発見の場として、大学のインテリジェンスを高めるべく、進化を始めています。今後も図書館にご期待ください。

「自由を生き抜く実践知大賞」の各賞の詳細や表彰式の動画は、HOSEI PHRONESIS(<http://phronesis.hosei.ac.jp/>)をご覧ください。



※田中優子総長は2021年3月にて任期満了により退任しました。





法政大学 在学生と保護者の皆さまへ

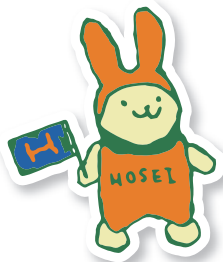
学研災付帯学総

加入していますか？

2021年度用

中途加入のご案内

団体割引  
30%適用



# 法政大学 学生保険

学生教育研究災害傷害保険付帯 学生生活総合保険 略称:付帯学総

法政大学がおすすめする保険制度です。是非ご加入ください。

病気もケガも  
通院1日目から補償

- かぜによる通院でも1日目から対象
- 調剤薬局で処方された薬代金も対象



©東京海上日動

保険金お支払い例

治療費用(病気):発熱のため通院した。  
…お支払い保険金: **3,860円**

治療費用(ケガ):学校行事の準備中、  
右足親指を強打し負傷した。  
…お支払い保険金: **12,220円**

個人賠償責任  
示談交渉サービス付

- インターンシップやアルバイト中も補償の対象となります!

●自転車条例に対応!!

保険金お支払い例

個人賠償責任:自転車で、停車中の車に追突した。  
…お支払い保険金: **100,954円**



©東京海上日動

メディカルアシスト 自動セット

一人暮らしの学生も安心です!!  
お電話にて各種医療に関する相談に応じます。

お手続きは、  
便利で簡単!

法政大学 学生保険  
Web加入サイト



・サイトのご利用時間は8:00-22:00です。  
・保険料はコンビニでお支払!(24時間OK!)

申込  
締切

2021年 **6月30日(水)**

※締切を過ぎた場合は取扱代理店までお問い合わせください。

ご加入について

在学中であればいつでもどなたでもご加入できます!

このチラシは保険の特徴を説明したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。  
パンフレット等の資料請求、ご加入方法および保険料については、下記取扱代理店までお気軽にご連絡ください。

取扱代理店

●お問い合わせ・連絡先  
<幹事代理店>  
株式会社 法政保険プラザ  
(法政大学関連会社 損害保険代理店)

(東京海上日動あんしんコンサルティング(株)内)

学生生活総合保険相談デスク

☎ 0120-811-806

受付時間 9:30-17:00 (土日祝日を除く) \*Webはこちら⇒



引受保険会社

<引受幹事保険会社>  
東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部文教公務室  
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4 TEL: 03-3515-4133